

# TestRail <sup>管理者ガイド</sup>



# TestRail 管理者ガイド

TestRail のセットアップに関する情報を記載しています。これから運用を開始したり、TestRail の評価を行う場合 にお読みください。

オフラインで閲覧する場合は、PDF 版をダウンロードしてください。



testrail\_guide.pdf

1. はじめに

1. はじめに

本書の説明、前提事項を説明しています。

2. ユーザーとグループ

2. ユーザーとグループ

TestRail にユーザーを追加する方法、権限、ユーザーグループについて説明しています。

# 3. プロジェクト作成

#### 3. プロジェクト作成

TestRail のプロジェクト作成、プロジェクトのアクセス制御について説明しています。

## 4. カスタムマイズ

4. カスタマイズ

テストケースやテスト結果のカスタムフィールド、UI スクリプトなどの TestRail のカスタマイズについて説明しています。

5. テストケースのインポート

#### 5. テストケースのインポート

Excel ファイルなど TestRail 外部で管理しているテストケースをインポートする方法について説明しています。

6. 高度な設定

#### 6. 高度な設定

TestLink からの移行、課題・要件管理ツール連携、REST API の利用について説明します。

# 7. その他

# 7. その他

TestRail のバックアップなど、知っていると便利な Tips を紹介します。

# 1. はじめに

本書は <u>TestRail 6.3.1.1008</u> で動作確認をしています。 ご利用の環境によっては、画面レイアウトや操作手順が異なる可能性がございます。

### 1-1.前提

このガイドは、以下の事項が実施されていることを前提としています。

#### 1-1-1. TestRail がインストールされている

TestRail のシステム要件、インストール方法については TestRail 管理マニュアルをご参照ください。

- 要件
- Windows へのインストール
- Unix/Linux へのインストール
- Docker へのインストール

1-1-2. TestRail のライセンスが有効である

TestRail のライセンスが有効であることをご確認ください。

ライセンスの有効期間が切れている場合、管理者ユーザーでログイン後自動でライセンス設定画面に遷移します。 現在利用しているライセンスの有効期限は、[管理] > [ライセンス] で確認できます。

1-1-3. 管理者権限のユーザーである

本ガイドは管理者権限をもつユーザーが操作することを前提としています。

インストール時に作成したユーザーは自動で管理者ユーザーになります。 インストール時に作成したユーザー以外 で本ガイドの操作をする場合は、管理者ユーザーであることをご確認ください。

ユーザーが管理者ユーザーかどうかは [管理] > [ユーザーとロール] > [ユーザー] タブでユーザー名の横に <u>(Admin)</u>の記載があるかを確認してください。

ユーザー グループ ロール	
□ ユーザー	電子メール アドレス
□ 中村俊哉	testrail_user5@techmatri
□ 伊藤大樹	testrail_user3@techmatri
□ 佐藤憲明	testrail_user7@techmatri
□ 加藤美穂	testrail_user2@techmatri
□ 吉田翔大(Admin)	se-testrail@techmatrix.c
	**************************************

1-2. TestRail の評価・運用開始までの流れ

- 1. TestRail をインストールする。
- 2. TestRailの設定を実施する。(本書ではこの設定に関して説明しています。)
  - ユーザーとグループの設定
  - プロジェクト作成
  - テストケースのインポート
- 3. TestRail の基本操作を学ぶ。(チュートリアル を利用する)
- 4. 評価・運用を開始し、必要に応じて TestRail の設定を変更する。

1-3. リンク

- チュートリアル
- ■次の章:2.ユーザーとグループ

# 2. ユーザーとグループ

本章では、ロールとユーザー、グループの作成方法について説明します。 TestRail を利用するには、ユーザーが TestRail にログインする必要があり、管理者は TestRail を利用するメンバー毎のログインユーザーを作成します。

2-1. ユーザーの追加

ユーザーの追加は、[管理] > [ユーザーとロール] > [ユーザー] タブで行います。

ユーザーの追加は、1 ユーザー毎追加する方法と、複数ユーザーを一度に追加する方法の2 通りがあります。

# 2-1-1. ユーザーを1人ずつ追加する

<u>ユーザーの追加</u>ボタンを押下します。

ユーザータブ

登録するユーザーに合わせてユーザー情報を設定します。
 本画面で設定した内容は、ユーザーがログイン後、変更することができます。

ユーザー アクセス		
フルネーム*		
例: John Doe または Jane Doe		
<b>雪子メール アドレフ *</b>		
B ] / // / / / / / / / / / / / / / / / /		
✓ 電子メール通知を有効化 テフトが亦更されたり テフト結果がみ わされたと	とさに香子マール通知太洋信!ます (注	
意:この機能を使用するには、グローバルな電子	ここに電」メール通知を100kg。注 ・メール通知も有効にする必要があります。	
言語*		
アプリケーションのデフォルトを使用	~	
ユーザーインターフェイスの言語を指定します。		
テーマ *		
Modern	~	
ユーザーインターフェイスのテーマを指定します。		
ロケール*		
アプリケーションのデフォルトを使用	~	
日付および数値の書式を指定します。		
ダイム ソーン・		
リノリアーノコノのノノイルドを使用	L = #	
シングルサインオン(SSO)認証の有効化 このボックスをオンにすると、このユーザーでは標準	と 進の認証が無効化され、代わりに認証統	
合しリコト設定」で設定1を使用するようになりま	£9 。	
● 電子メールでユーザーを招待		
このオノションは、新規ユーサーにバスワート ルを送信するのに使用します(パスワードH	トの設定方法の茶内を記載した招待メー は送信されません)。	
○ 手動でパスワードを指定する(招待メール)	しは送信されません)	
このオプションを選択した場合は、招待メー	<ールは送信されません。手動でパスワード	

- 新規ユーザー登録後、パスワード設定用のリンクをユーザーに対してメール送信します。
- ユーザーは、メールに記されたリンクから TestRail にアクセスして初回ログインを行うことができます。
- 事前にメールサーバーの設定が必要です。メールサーバーの設定は[管理]>[サイト設定]
   >[電子メール] タブで行います。

 注意:TestRail は STARTTLS を使ったメール送信に対応していません。STARTTLS を 使っている場合は、中継サーバー等を設定してください。

■ 手動でパスワードを指定する(招待メールは送信されません)

- ユーザー登録時に、管理者がパスワードの登録も行います。
- ユーザー登録後、ユーザーには登録されたことを知らせるメール通知は行われません。

■ 登録したパスワード情報を、ユーザーに通知する必要があります。

#### アクセスタブ

- 登録するユーザーに合わせてユーザーのアクセス権を設定します。
- ロール、グループについては、本章の以降の項目で説明します。

ユーザー	アクセス	
コール *		
Lead	~	
1−ザ−のグ トで設定を_	ローバルなロール、つまりユーザーのパーミッションを指定します。 個々 のプロジェク 上書きできます。 <u>プロジェクト設定</u> 詳細	
🛛 このユ-	ザーはアクティブ	
すべてのアク ハユーザーを	ティブなユーザーに TestRail ライセンスが必要です。 もうアクセスする必要がな 無効化してライセンスを再利用することができます。	
] このユ-	ザーは管理者	
ョ 管理者はプ きます。	ロジェクトの追加や削除、ユーザーの管理、TestRailの設定などを行うことがで	
ゲループ		
グループ 躍択す	·べて」なし	
グ <b>ル−プ</b> 選択す	<u>×~~126</u>	
グ <b>ループ</b> 選択す	<u>べてはし</u>	
グループ 選択す	<u>べて」なし</u>	
グ <b>ループ</b> 選択す	<u>×ζıtı</u>	
ブループ 選択す		
/ル−プ 選択す		

- このユーザーはアクティブ
  - ユーザーが TestRail にログインするには、アクティブ (チェックボックスがON) である必要があります。
  - 人員の入替など、TestRailのログインが不要にならない限り、<u>アクティブ</u>としてください。
- このユーザーは管理者
  - 管理者は、TestRail の管理メニューの操作が行うことができます。
  - 通常、テスト管理のためだけにTestRailを利用する場合、管理者である必要はありません。
- <u>ユーザーの追加</u> ボタンを押下してユーザーを登録します。

#### 2-1-2. 一度に複数ユーザーを追加する

- <u>複数のユーザーの追加</u> ボタンを押下します。
- 追加するユーザー名とメールアドレスをカンマ区切りで設定します。

■ この例では2ユーザーが追加されます。

ユーザー*	7	/LĽユ·	-			
Alice Doe, alice⊜example.com Bob Doe, bob⊜example.com		1	Alice Doe	alice@example.com	新規	*
		2	Bob Doe	bob@example.com	新規	
						Ŧ

- ユーザーのロールやグループ、言語などをデフォルト値から変更する場合は、「ロールやグループなどの<u>その他のフィールドを設定</u>するか、デフォルトのままにします。」をクリックして設定を行います。
- ここで設定した内容は、追加する全ユーザーに反映されます。

~
~
~
~
~
~
ます。
~
パーミッションを指定します。個々のプロ
<u>き詳細</u>

✓ 新規ユーザーに招待メールを送信する このオブションは、新規ユーザーにパスワードの設定方法の案内を記載した招待メールを送 信するのに使用します(パスワードは送信されません)。外部認証(LDAP/Active Directory など)を使用する場合は、無効にするとよいでしょう。

- チェックボックスを有効化していると、新規ユーザーの登録後、ユーザーに対してパスワード設定用のリンクがメール送信されます。
- ユーザーは、メールに記されたリンクから TestRail にアクセスしてパスワード設定、初回ログイン を行うことができます。
- 事前にメールサーバーの設定が必要です。メールサーバーの設定は[管理]>[サイト設定]>[電子メール] タブで行います。
  - 注意:TestRail は STARTTLS を使ったメール送信に対応していません。STARTTLS を使っている場合は、中継サーバー等を設定してください。

#### 2-1-3. ライセンスとユーザーについて

TestRail のライセンスは、TestRail 上で <u>アクティブ</u> なユーザー数に紐づきます。

ログインしたことが無いユーザーや、現在ログイン中ではないユーザーであっても、ステータスがアクティブであ ればライセンスは消費されます。

ライセンスを解放したい場合は、ユーザーのステータスを <u>非アクティブ</u> に変更します。(非アクティブにするとロ グインできなくなります。)

例えば、登録されているユーザーが次の画像の状態である場合、ステータスが アクティブ なユーザーが 3 人存在 するので TestRail のライセンスは 3 ユーザー分利用されていることになります。

						∠編集、
ユーザー	電子メールアドレス	ログイン タイプ	最終アクティブ日 😮	ステータス	D-1/	
Hanako Techmatrix	hanako@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ 🗸	Lead 🗸	Ø
Hoge Techmatrix	hoge@techmatrix.co.jp	ローカル	ログイン記録なし	アクティブ 🗸	Lead 🗸	Ø
Taro Techmatrix (Admin)	taro@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ	Lead 🗸	0

上の画像を次の画像のように変更した場合、TestRailのライセンスは2ユーザー分利用されていることになります。

						_ 編集・
ユーザー	電子メール アドレス	ログイン タイプ	最終アクティブ日 🕑	ステータス	0- <i>l</i>	
Hanako Techmatrix	hanako@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ 🗸	Lead 🗸	₫
Hoge Techmatrix	hoge@techmatrix.co.jp	ローカル	ログイン記録なし	非アクティ 🗸	Lead 🗸	2
Taro Techmatrix (Admin)	taro@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ	Lead 🛩	<u>@</u>

ユーザーのステータスを変更する方法

ユーザーのステータスを切り替えるには、ユーザー一覧画面のステータスプルダウンを選択します。

ユーザ	- グループ ロール						
							⊿ 編集・
	ユーザー	電子メール アドレス	ログイン タイプ	最終アクティブ日 😧	ステータス	D-1/	
	Hanako Techmatrix	hanako@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ 🗸	Lead 🗸	2
	Hoge Techmatrix	hoge@techmatrix.co.jp	ローカル	ログイン記録なし	アクティブ 🗸	Lead 🗸	2
	Taro Techmatrix (Admin)	taro@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ	ead 🗸	2
+ :	ユーザーの追加 + 複数のユーサ	「一の追加			非アクティブ		

または、ユーザーを選択してユーザーの編集画面で <u>このユーザーはアクティブ</u> チェックボックスを ON/OFF しま す。

ール* ead ~ -ザーのグローバルなロール、つまりユーザーのパーミッションを指定します。個々のプロジェ ご設定を上書きできます。プロジェクト設定 詳細	
ead ✓ -ザーのグローバルなロール、つまりユーザーのバーミッションを指定します。個々のプロジェ で設定を上書きできます。 <u>プロジェクト設定 詳細</u> 最終アクティブ日: ログイン記録なし このユーザーはアクティブ へのアフティフなユーサーに TestRail ライセンスが必要です。もうアクセスする必要がな	
-ザーのグローバルなロール、つまりユーザーのパーミッションを指定します。個々のプロジェ で設定を上書きできます。 <u>プロジェクト設定 詳細</u> 最終アクティブ日: ログイン記録なし このユーザーはアクティブ 、Cのアツティフなユーツーに TestRail ライセンスが必要です。もうアクセスする必要がな	
最終アクティブ日: ログイン記録なし このユーザーはアクティブ 、Cのアッティフなユーリーに TestRail ライセンスが必要です。もうアクセスする必要がな	2
最終アクティブ日: ログイン記録なし このユーザーはアクティブ 、Cのアツティフなユーリーに TestRail ライセンスが必要です。もうアクセスする必要がな	
このユーザーはアクティブ 、Cのアウティフルユーリーに TestRail ライセンスが必要です。もうアクセスする必要がな	
エーサーを無効16してブイセン人を丹利用することかできます。	14
このユーザーは管理者	
理者はプロジェクトの追加や削除、ユーザーの管理、TestRailの設定などを行うことが ます。	C
ループ	

ユーザーの非アクティブと無効化

ユーザー編集画面の右側に表示されるアクションの <u>このユーザーを無効にする</u>は、ユーザーの非アクティブ化と は異なります。



<u>このユーザーを無効にする</u>を選択した場合、該当のユーザーは個人を特定できないようにユーザー名やメールアド レスが難読化した値に置き換えられます。

						∠編集、
ユーザー	電子メール アドレス	ログイン タイプ	最終アクティブ日 😧	ステータス	0- <i>l</i> l	
F16076645183957	F16076645183957@gurock.io	ローカル	ログイン記録なし	非アクティ Y	' Lead 🗸	L
Hanako Techmatrix	hanako@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ 🗸	Lead 💙	Ø
Taro Techmatrix (Admin)	taro@techmatrix.co.jp	ローカル	11th December 2020	アクティブ	Lead 🗸	0

TestRail 上でこのユーザーがおこなった活動 (テスト結果の登録やテストケースの作成など) は全て置き換えられた ユーザー名で更新され、TestRail 上のあらゆるデータからユーザー個人を特定することができなくなります。

TestRail のライセンス解放を目的とする場合は、必ず無効化ではなく、ステータスの <u>非アクティブ</u> 化をしてください。

#### 2-1-4. シングルサインオン (SSO) について

カスタム認証スクリプトを利用すると、外部システムと統合して SSO (シングルサインオン) 機能を実装することが できます。

Active Directory サービスや LDAP サービスと統合するカスタム認証スクリプトも提供しています。

詳細は、オンラインマニュアルの <u>認証とシングル サインオン</u> をご確認ください。

認証とシングル サインオン

TestRail Enterprise 版を利用すると、SAML 2.0 プロトコルを使用する任意の SSO ID プロバイダー (IdP) と TestRail を統合することもできます。

TestRail Enterprise 版についてご興味がございましたら、お問い合わせください。

# 2-2. グループの追加

TestRail では、複数のユーザーをグループで管理することができます。

1人のユーザーが複数のグループに所属することができ、作成したグループは、TestRail 上のプロジェクトに対す るアクセス権の管理に利用します。特定のプロジェクトに関係したユーザーや、プロジェクトに対して同じアクセ ス権限を持たせたいユーザーをまとめて管理できます。

名前 *	
SampleGroup	
例: QA London、In-house または Client A	
7_++_	
1-9-	
選択 <u>すべて」なし</u>	
✓ 中村俊哉	
□伊藤大樹	
□ 佐藤憲明	
□ 加藤美穂	
✓ 吉田翔太(Admin)	
□ 小林麻美	
✓ 茆不亭 □ 吉塔政会	
	-
7のグル ゴーキャッナスコーゼ キア部位レスノビャン	

2-3. ロール

ロールとは、ユーザーおよびグループに割り当てるアクセス権です。

TestRail には、<u>Read-only</u>、<u>Tester</u>、<u>Designer</u>、<u>Lead</u> の 4 つのロールがあらかじめ用意されています。

次の表は、各ロールにおけるデフォルトの権限です。

- 〇:操作可
- ×:操作不可
- - :機能が存在しない

ロール	パーミッション	追加・編集	削除	閉じる	修正
Read-only	添付ファイル	×	×	-	-
	ケースとセクション	×	×	-	-
	設定	×	×	-	-
	マイルストーン	×	×	-	-
	ランと計画	×	×	×	-
	ランと計画 (完了)	-	×	-	-
	レポート	×	×	-	-
	レポート (定期)	×	×	-	-
	スイート	×	×	-	-
	テスト結果	×	-	-	×
Tester	添付ファイル	0	0	-	-
	ケースとセクション	×	×	-	-
	設定	×	×	-	-
	マイルストーン	×	×	-	-
	ランと計画	0	×	×	-
	ランと計画 (完了)	-	×	-	-
	レポート	0	0	-	-
	レポート (定期)	0	0	-	-
	スイート	×	×	-	-
	テスト結果	0	-	-	×
Designer	添付ファイル	0	0	-	-
	ケースとセクション	0	0	-	-
	設定	×	×	-	-
	マイルストーン	×	×	-	-
	ランと計画	0	×	×	-
	ランと計画 (完了)	-	×	-	-
	レポート	0	0	-	-
	レポート (定期)	0	0	-	-
	スイート	×	×	-	-
	テスト結果	0	-	-	×
Lead	添付ファイル	0	0	-	-
	ケースとセクション	0	0	-	-
	設定	0	0	-	-
	マイルストーン	0	0	-	-
	ランと計画	0	0	0	-
	ランと計画 (完了)	-	×	-	-
	レポート	0	0	-	-
	レポート (定期)	0	0	-	-
	スイート	0	0	-	-
	テスト結果	0	-	-	×

インストール後は Lead ロールがデフォルトのロールに設定されており、ユーザーやグループの作成時に指定が無い場合は自動的に Lead がユーザーのロールに割り当てられます。

ご利用の状況に合わせて、デフォルトのロールを Lead から変更したり、4 つのロールの設定を変更すること、新 しいロールを追加することもできます。

ロールの追加/編集は、[管理] > [ユーザーとロール] > [ロール] タブで行います。

#### 2-3-1. グローバルロールとプロジェクトアクセスについて

各ユーザーに設定されているロールは <u>グローバルロール</u>です。

グローバルロールは、各プロジェクトに対するアクセス権として利用されます。

例えば、ユーザー設定で Lead ロールが割り当てられているユーザーは、プロジェクト側で制御をしない限り、TestRail 状の全プロジェクトに対して Lead の権限でアクセスできます。これは、このユーザーが全プロジェクトのテストケースの追加/削除/変更ができることを意味しています。

各ユーザーのグローバルロールでプロジェクトにアクセスさせないようにするには、プロジェクト毎にアクセス権 を設定する必要があります。詳細は、プロジェクト作成 をご確認ください。

2-4. リンク

- ■前の章:1.はじめに
- ■次の章:3.プロジェクト作成
- 関連マニュアル:ユーザーのパーミッションとロールの管理
- 関連マニュアル:ユーザーとセキュリティの管理

# 3. プロジェクト作成

本章では、プロジェクトの作成 について説明します。 プロジェクトは TestRail の主要な構成単位です。一般的に は、TestRail 内で管理するソフトウェア プロジェクトごとに TestRail プロジェクトを作成します。

# 3-1. プロジェクトを作成する

プロジェクトの追加/編集は、以下からできます。

■ ダッシュボード画面の [プロジェクトの追加] ボタン

Free testing webinars - browse this month's topics. Reserve your	seat now!	+ プロジェクトの追加	T
	<ul> <li>活動(14日):</li> <li>1.1サンプルプロジェクト 2999 個の最近のテスト活動</li> <li>2.デシジョンテーブル 1個の最近のテスト活動</li> </ul>	6 個のアクティブなブロジェクトおよび の完了 済みブロジェクトがあります。 TODO 1.サンブルブロジェクト	18 18

■ [管理] タブ> [プロジェクト] > [プロジェクトの追加] ボタン

ダッシュポード		管理
Free testing webinars - browse this month's topics. Reserve your seat now!	0	プロジェクト、ユーザー、グローバル設定を管
プロジェクト		埋しより。 概要
プロジェクト		ブロジェクト
1_サンプルプロジェクト	20	カスタマイズ
2_デシジョンテーブル	20	新合 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3_ペースライン	2 0	ライセンス
4_Ranorex連携テスト	2 0	システムログ
お試しプロジェクト1	2 0	サイト設定
お試しプロジェクト2	20	
+ プロジェクトの追加		6 個のプロジェクトを管理しています。

# 3-2. プロジェクトタイプの選び方

TestRail には 3 つのプロジェクトタイプがあります。それぞれテストケースの管理方法が異なるため運用にあった プロジェクトタイプを選択してください。

#### 3-2-1. すべてのケースについて単一リポジトリを使用する

 プロジェクト内のすべてのテストケースを一つのテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェク トタイプです。

- テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでテストケースを分類することができます。
- プロジェクトの構成がシンプルであり、テストランやテスト計画の作成、プロジェクト全体のレポート作成を簡単に行うことができるプロジェクトタイプです。
- テストスイートをバージョン管理する場合は、「ベースラインサポートありの単一リポジトリ」を利用してください。
- 3-2-2. ベースライン サポートありの単一リポジトリを使用する
  - プロジェクト内のすべてのテストケースを一つのテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェクトタイプです。
  - テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでさらにテストケースを分類することができます。
  - テストスイート全体をベースラインとして保持する(バージョン管理する)ことができ、いつでも必要なベースラインのテストケースを使うことができます。
  - 並行開発などプロジェクトで複数バージョンのテストを管理する必要がある場合や、以前のバージョンのテストを実施することがある場合はこのプロジェクトタイプを利用します。

3-2-3. 複数テスト スイートを使用してケースを管理する

- テストプロジェクト内のテストケースを複数のテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェクト タイプです。
- テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでさらにテストケースを分類することができます。
- テストケースを機能やテスト手法で分けて管理したい場合はこのプロジェクトタイプを利用します。
- 一部のレポートはテストスイート単位で生成されます。プロジェクト全体の情報を確認するには、テ ストスイート数分のレポート生成が必要です。

#### 3-2-4. 注意

- UI テスト自動化ツール Ranorex と連携する場合は、「複数テストスイートを使用してケースを管理 する」を使用する必要があります。
- 「すべてのケースについて単一リポジトリを使用する」で作成したプロジェクトを、「ベースライン サポートありの単一リポジトリを使用する」や「複数テストスイートを使用してケースを管理する」 に変更することはできますが、その逆はできません。

3-3. アクセス権の設定

ユーザーに対してプロジェクトのアクセス権を制御することができます。

プロジェクトの編集 > [アクセス] タブで設定を行います。

フォルト アクセン					
	ζ*				
ローバル ロール			~		
)プロジェクトのデ ブループごとに上	フォルトアク・ 書きできます。	セスを指定し . <u>詳細</u>	します。 デフォルト :	アクセスは、下でユーザーまた	
レーザー				グローバル ロール	プロジェクト アクセス
中村俊哉				Lead	- 🗸
甲藤大樹				Lead	- 🗸
生藤憲明				Lead	- 🗸
口藤美穂				Lead	- 🗸
吉田翔太(Adm	nin)			Lead	- 🗸
林麻美				Lead	- 🗸
山本春香				Lead	- 🗸
度辺浩二				Lead	- 🗸
日中次郎				Lead	- 🗸
命木孝				Lead	- 🗸
「橋啓介				Lead	- 🗸
ブループ					ブロジェクト アクセス
レーザー グループ	がありません	10			

ここでは以下の2つの設定を行うことができます。

- プロジェクトのデフォルトアクセスを設定すること
- 特定のユーザーまたはグループにアクセス権を割り当てること

#### 3-3-1. プロジェクトのデフォルトアクセスを設定する

デフォルトアクセス は、プロジェクトのアクセス権を上書きしない <u>すべてのユーザー</u> および <u>グループ</u> に適用され ます。

以下のいずれかを選択することができます。

- グローバルロール
- <u>アクセスなし</u>
- <u>TestRail 上に存在するロール</u>

グローバルロール

全てのユーザーがユーザー自身のロールでこのプロジェクトにアクセスすることができます。

次のユーザー一覧の画像を例にすると、中村さんは、<u>グローバルロール</u>を選択しているプロジェクトに Lead ロー ルの権限でアクセスでき、伊藤さんは Tester ロールの権限でアクセスできます。

- <del>ザ</del> -	-20-11					
) 1-	-ザー、グループ、パーミッションの1	管理およびプロジェクトのアクセス制御について詳細を参照して	ください。			
1-#	- グループ ロール					
						2 編集
	ユーザー	電子メール アドレス	最終アクティブ日 🛛	ステータス	D-1/	
	中村俊哉	testrail_user5@techmatrix.c	ログイン記録なし	アクティブ 🗸	Lead 🛩	2
_	伊藤大樹	testrail_user3@techmatrix.c	ログイン記録なし	アクティブ 🗸	Tester 💙	2
υ.						

アクセスなし

全てのユーザーはこのプロジェクトにアクセスすることができません。 アクセスするには、ユーザー毎またはグループでアクセス権を変更する必要があります。

TestRail 上に存在するロール

全てのユーザーが選択した <u>ロール</u> でこのプロジェクトにアクセスすることができます。

ロールの設定は、[管理] タブ > [ユーザーとロール] > [ロール] タブにあります。

注意

デフォルトアクセスの設定は、全てのユーザー、グループに反映されることに注意してください。

例えば、デフォルトアクセスで <u>Read-only</u>を選択した場合、ユーザー、グループ毎にアクセス権を設定しない限り、TestRail 上の全てのユーザーがこのプロジェクトを参照できることになります。

3-3-2. 特定のユーザーまたはグループにアクセス権を割り当てること

ユーザーまたはグループにこのプロジェクトへのアクセス権を個別に設定します。

ここで設定した値は、<u>デフォルトアクセス</u>で設定したアクセス権を上書きします。

のプロジェクトのデフォルト マクセフを指定します。 デフ		
リノロノエノドリノフォルドナノビスと信だしより。ノノ ガル、ゴデレビ と書きできます - 琵頭	ォルトアクセスは、下でユーザーまた	
///-/してに二百さ(さみり。 <u>計画</u>		
1-ザ-	グローバル ロール	プロジェクト アクセス
中村俊哉	Lead	- 🗸
尹藤大樹	Lead	-
佐藤憲明	Lead	グローバル ロール
加藤美穂	Lead	アクセスなし
吉田翔太 (Admin)	Lead	Read-only
小林麻美	Lead	Tester
山本春香	Lead	Lead
度辺浩二	Lead	- •
田中次郎	Lead	- •
鈴木孝	Lead	- •
高橋啓介	Lead	- •
		701-61-761-7

ユーザー毎の設定

次の画面において、デフォルトアクセスで<u>グローバルロール</u>が選択されている場合を想定します。

- 1. 中村さんのグローバルロールは <u>Lead</u> ですので、プロジェクトアクセスを設定しない "<u></u>"の状態 では、このプロジェクトに対して Lead のアクセス権を持ちます。
- 2. 中村さんのプロジェクトアクセスを <u>Read-only</u> にすると、中村さんはこのプロジェクトに対して <u>Read-only</u> のアクセス権を持つことができます。(中村さん自身のグローバルロールを上書き)

ノオルトプクセス。		
/อ–パル อ–ル	~	
Dプロジェクトのデフォルト アクセスを指定します。う グループごとに ト書きできます。詳細	デフォルトアクセスは、下でユーザーまた	
// /ccli-Bc(co)/ Alon		
ユーザー	グローバル ロール	プロジェクト アクセス
中村俊哉	Lead	Read-only 🗸
伊藤大樹	Lead	- 🗸
佐藤憲明	Lead	- •
加藤美穂	Lead	- •
吉田翔太(Admin)	Lead	- •
小林麻美	Lead	- 🗸
山本春香	Lead	- •
渡辺浩二	Lead	- 🗸
田中次郎	Lead	- •
鈴木孝	Lead	- 🗸
高橋啓介	Lead	- •
		フロジェクト アクセス

## グループ毎の設定

# デフォルトアクセスで<u>グローバルロール</u>が選択されている場合を想定します。

# 伊藤さんは、SampleGroup グループに属しています。

グループの編集
名前*
SampleGroup
例: OA London、In-house または Client A
ユーザー
選択 <u>すべてIなし</u>
□ 中村俊哉
□ 佐藤魚明
✓ 吉田翔太(Admin)
□ 山本春答
<ul> <li>□ 鈴木孝</li> </ul>
□ 高橋啓介
このグループに参加するユーザーを選択してください。

Copyright (c) 2021 TechMatrix Corporation. All rights reserved.

- 1. 伊藤さんのグローバルロールは <u>Lead</u> ですので、ユーザー/グループどちらかのプロジェクトアクセ スを設定しない "<u>-</u>"の状態では、このプロジェクトに対して <u>Lead</u> のアクセス権を持ちます。
- SampleGroup グループのプロジェクトアクセスを <u>Read-only</u> にすると、伊藤さんはこのプロジェクトに対して <u>Read-only</u> のアクセス権を持つことができます。(伊藤さん自身のグローバルロールを上書き)

フォルト アクセス * 「ローバル ロール	~	
)プロジェクトのデフォルト アクセスを指定しま ブループごとに上書きできます。 <u>詳細</u>	す。デフォルトアクセスは、下でユーザーまた	
1-ザ-	グローバル ロール	プロジェクト アクセス
中村俊哉	Lead	- •
伊藤大樹	Lead	- 🗸
佐藤憲明	Lead	- •
加藤美穂	Lead	- •
吉田翔太(Admin)	Lead	- •
小林麻美	Lead	- •
山本春香	Lead	- •
渡辺浩二	Lead	- •
田中次郎	Lead	- •
鈴木孝	Lead	- *
高橋啓介	Lead	- ¥
グループ		ブロジェクト アクセス
SampleGroup		Read-only ¥

ユーザーとグループの優先順位

ユーザーと所属するグループの両方でプロジェクトアクセスが設定されている場合は、以下の順番で優先されます。

- 1. (最優先) ユーザーのプロジェクトアクセス
- 2. グループのプロジェクトアクセス
- 3. デフォルトアクセス

デフォルトアクセスで <u>グローバルロール</u> が選択されている場合を想定します。

伊藤さんは、SampleGroup グループに属しています。

SampleGroup         例: 0A London, In-house または Client A         ユーザー         選択 <u>すべて I なし</u> 中村俊哉         グ藤大樹         佐藤憲明         加藤美穂         吉田翔太 (Admin)         小林麻美         山本春香         渡辺浩二         田中次郎         鈴木孝         高橋啓介	白則	
例: 0A London, In-house または Client A         ユーザー         選択 <u>すべて1なし</u> 中村俊哉         グ 伊藤大樹         佐藤憲明         加藤美穂         1 古田翔太 (Admin)         小林麻美         山本春香         ※辺浩二         田中次郎         鈴木孝         高橋啓介	SampleGroup	
<ul> <li>ユーザー</li> <li>選択 <u>すべて」なし</u></li> <li>中村俊哉</li> <li>伊藤大樹</li> <li>佐藤憲明</li> <li>加藤美穂</li> <li>吉田翔太 (Admin)</li> <li>小林麻美</li> <li>山本春香</li> <li>渡辺浩二</li> <li>田中次郎</li> <li>鈴木孝</li> <li>高橋啓介</li> </ul>	例: OA London、In-house または Client A	
選択 <u>すべて1なし</u> 中村俊哉         グ 伊藤大樹         佐藤憲明         加藤美穂         ゴ 吉田翔太 (Admin)         小林麻美         山本春香         渡辺浩二         田中次郎         鈴木孝         高橋啓介	7-#-	
<ul> <li>選択 <u>すべて1なし</u></li> <li>中村俊哉</li> <li>伊藤大樹</li> <li>佐藤憲明</li> <li>加藤美穂</li> <li>吉田翔太 (Admin)</li> <li>小林麻美</li> <li>山本春香</li> <li>渡辺浩二</li> <li>田中次郎</li> <li>鈴木孝</li> <li>高橋啓介</li> </ul>		
<ul> <li>□ 中村俊哉</li> <li>☑ 伊藤大樹</li> <li>□ 佐藤憲明</li> <li>□ 加藤美穂</li> <li>☑ 吉田翔太(Admin)</li> <li>□ 小林麻美</li> <li>□ 山本春香</li> <li>☑ 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	選択 <u>すべて Iなし</u>	
<ul> <li>✓ 伊藤大樹</li> <li>○ 佐藤憲明</li> <li>○ 加藤美穂</li> <li>✓ 吉田翔太 (Admin)</li> <li>○ 小林麻美</li> <li>○ 山本春香</li> <li>✓ 渡辺浩二</li> <li>○ 田中次郎</li> <li>○ 鈴木孝</li> <li>○ 高橋啓介</li> </ul>	□ 中村俊哉	
<ul> <li>□ 佐藤憲明</li> <li>□ 加藤美穂</li> <li>✓ 吉田翔太(Admin)</li> <li>□ 小林麻美</li> <li>□ 山本春香</li> <li>✓ 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	✓ 伊藤大樹	
<ul> <li>□ 加膝美徳</li> <li>✓ 吉田翔太 (Admin)</li> <li>□ 小林麻美</li> <li>□ 山本春香</li> <li>✓ 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>		
<ul> <li>☑ 吉田翔太(Admin)</li> <li>□ 小林麻美</li> <li>□ 山本春香</li> <li>☑ 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>		
<ul> <li>□ 山本春香</li> <li>☑ 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	✓ 百田翔太(Admin) □ 小林麻美	
<ul> <li>Z 渡辺浩二</li> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	□ 山本春香	
<ul> <li>□ 田中次郎</li> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	☑ 渡辺浩二	
<ul> <li>□ 鈴木孝</li> <li>□ 高橋啓介</li> </ul>	□ 田中次郎	
□ 高橋啓介		
	□ 鈴木孝	

伊藤さん自身のプロジェクトアクセスで <u>アクセスなし</u>、 SampleGroup グループのプロジェクトアクセスで <u>Read-only</u> を選択します。

フォルト アクセス *		
グローバル ロール	*	
のプロジェクトのデフォルト アクセスを指定しま ヴループごとに上書きできます。 <u>詳細</u>	す。デフォルトアクセスは、下でユーザーまた	
ユーザー	グローバル ロール	プロジェクト アクセス
中村俊哉	Lead	- 🗸
伊藤大樹	Lead	アクセスなし 🗸
佐藤憲明	Lead	- ¥
加藤美穂	Lead	- ¥
吉田翔太 (Admin)	Lead	- 🗸
小林麻美	Lead	- •
山本春香	Lead	- 🗸
渡辺浩二	Lead	- •
田中次郎	Lead	- •
鈴木孝	Lead	- •
高橋啓介	Lead	- 🗸
グループ		プロジェクト アクセス
SampleGroup		Dead-only ¥

伊藤さんのこのプロジェクトに対するアクセス権は アクセスなし になります。

3-4. ユースケース

3-4-1. グローバルにユーザーアクセス権を制限する

ユーザーのアクセス権を制限したい場合、あらかじめ TestRail に用意されているロールまたは、独自のロールを作成してユーザーに割り当てます。

ロールを使用すると、次のようなアクセス権の制御ができます。

- ユーザーがプロジェクトに対してテスト結果を追加できるが新しいケースを追加できないようにする(Tester)
- ユーザーがプロジェクトに対していずれの変更もできないようにする (Read-only)

#### 3-4-2. プロジェクトごとに個別のアクセス権を設定する

プロジェクトごとにユーザーのアクセス権を変更したい場合は、プロジェクト設定で各ユーザーの固有ロールを選 択して割り当てます。

- あるユーザーがほとんどのプロジェクトで Designer ロールを使用する場合は、この Designer ロー ルをユーザーのロールとして割り当てます。([管理] > [ユーザーとロール] > [ユーザー] タブ > (ユー ザーの) ロール)
- 2. このユーザーが特定のプロジェクトで Lead ロールを必要とするなら、そのプロジェクトの [アクセス] ページでユーザーのプロジェクトアクセスで Lead ロールを選択します。([管理] > [プロジェクト]、[プロジェクト] > アクセス タブ)

#### 3-4-3. プロジェクトメンバー以外のすべてのユーザーに対してプロジェクトを非表示にする

プロジェクトにアクセスさせたくないユーザーが多い場合は、デフォルトでプロジェクトを非表示にして、プロジェ クトメンバーだけにアクセスを許可します。

- 1. プロジェクトのデフォルトアクセスとして <u>アクセスなし</u>を設定します。
- 2. プロジェクトメンバーやグループのプロジェクトアクセスにロールを割り当てます。

#### 3-4-4. プロジェクトを読み取り専用にする

もう作業をしていないが TestRail に保存しておきたいプロジェクトは読み取り専用にすることができます。

■ プロジェクトのデフォルトアクセスで <u>Read-only</u> ロールを設定します。

特定のユーザーに対してこのロールを上書きしない限り、すべてのユーザーは読み取り専用でこのプロジェクトに アクセスできます。

3-5. リンク

- 前の章: 2. ユーザーとグループ
- ■次の章:4.カスタマイズ
- 関連マニュアル: TestRail 入門
- 関連マニュアル:ユーザーとセキュリティの管理

4. カスタマイズ

本章では、カスタマイズ について説明します。

TestRail ではテストケースとテスト結果の入力用にカスタムフィールドを追加したり、優先度やステータスをカス タマイズすることができます。

4-1.フィールド

フィールドの追加/編集は、[管理] > [カスタマイズ] でおこないます。

カスタムフィールドはテストケースとテスト結果に追加することができます。

■ テストケース:テストケースの入力および表示用にカスタムフィールドを追加

■ テスト結果:テスト結果の入力および表示用にカスタムフィールドを追加

カスタマイズしたフィールドは、TestRail上の全てのプロジェクトまたは特定のプロジェクトで利用できます。

4-1-1. ケースフィールド

テストケースの追加、編集画面のフィールドをカスタマイズできます。

~	テンプレート * Test Case (Text)	~	タイプ* Other	~	優先度 * Medium	~
	参照	2	Automation Type	~	OS すべて	~
	~	テンプレート* ✓ Test Case (Text) 参照	テンプレート*  Test Case(Text)  参照  2	テンプレート*     タイブ*            「test Case(Text)         ・         ・         ・	テンブレート* タイブ*  Test Case(Text)  参照  Automation Type  None  V	テンプレート*     タイブ*     優先度*       Test Case(Text)     Other     Medium       参照     2     Automation Type     OS       None     すべて

※赤枠のフィールドがカスタムフィールドとして追加されたフィールド。それ以外はデフォルトのフィールドです。

#### 4-1-2. 結果フィールド

結果の追加画面のフィールドをカスタマイズできます。

ステータス*		アサイン	
Failed 🗸			
テストステータスを設定します (Passed、Failed など)。		他のチームメンバーに割り当てま	す。
אעאב	III 🖂 😮	バージョン	
		テストしているバージョンです。	
		経過期間	100
テスト結果の説明です。		テストにかかった時間です。	
<b>エラー種別</b> 作業ミス ×		欠陥	
		パグ トラッカーの ID のリストです	
添付ファイルはありません。			
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参	照します。		

※赤枠のフィールドがカスタムフィールドとして追加されたフィールド。それ以外はデフォルトのフィールドです。

4-1-3. フィールドの追加方法

- 1. ケースフィールド、または結果フィールドの フィールドの追加 ボタンを押下します。
- 2. 入力画面に沿って設定します。
  - 選択可能な <u>タイプ</u> についてはカスタム フィールドの設定 > 基本ご参照ください。
- <u>プロジェクトとオプションの追加</u>についてはカスタムフィールドの設定 > プロジェクトの割り当て をご参照ください。
- 4. フィールドの追加 ボタンを押下してフィールドを追加します。

4-2. テンプレート

テンプレートはテストケースの追加、編集画面に表示される <u>ケースフィールド</u> と結果の追加画面に表示される <u>結</u> <u>果フィールド</u> の構成を管理するテンプレートです。

標準で3つのテンプレートが用意されています。

- Test Case (text)
- Test Case (Steps)
- Exploratory Session

<u>テンプレートの追加</u>では、テンプレート名、テンプレートを使うプロジェクトなどテンプレートの定義だけを設 定することができます。

テンプレートでどのフィールドを利用するかは、<u>ケースフィールド</u>および <u>結果フィールド</u>の <u>フィールドは次のテ</u> <u>ンプレートにだけ適用される</u> で設定します。

<ul> <li>フィールドはすべてのテンプレートに適用される すべてのケースに(すべてのテンプレートのケース、またテンプレートを使用しないケース にも)このフィールドを使用するには、このオブションをオンにします。</li> </ul>
<b>フィールドは次のテンプレートにだけ適用される</b> このフィールドを適用するテンプレートを選択することもできます。特定のテンプレート タイプだけにフィールドを制限する場合に便利です。
選択 <u>すべてIなし</u>
Exploratory Session
Test Case (Steps)

# 4-3. ケースタイプ

# ケースタイプは、テストケースの <u>タイプ</u>フィールドの項目をカスタマイズできます。

テスト ケースの追加				
MovieTicketTest				
ቃ <b>ተ</b> トル *				
セクション*	テンプレート *	タイプ・	優先度*	
MovieTicketTest	✓ Test Case (Text)	✓ Other	Medium	~
見積り	参照	Acceptance Accessibility	os	
		Automated	すべて	~
Preconditions		Destructive		
		Other		
		Performance		
		Security		
		Smoke & Sanity		
		Usability		
The preconditions of this test case.	Reference other test cases with [C	#](e.g.[C17]).		

# 4-4. 優先度

## 優先度は、テストケースの優先度フィールドの項目をカスタマイズできます。

aviaTiskatTast					
oviericketrest					
15/0-					
セクション*	テンプレート*		タイプ*	優先度*	
MovieTicketTest	✓ Test Case (Text)	~	Other	✓ Medium	
見積り	参照	2	Automation Type	Critical High	
			None	✓ Medium	
				Low	
reconditions					

#### 4-5. ステータス

ステータスは、テスト結果の ステータス をカスタマイズできます。

結果の追加	
ステータス *	
Passed	~
Passed	
Blocked	
Retest	
Failed	

新しいステータスを追加する場合は、名前が Unnamed N のステータスを編集してください。

# 4-5-1. このステータスは最終ステータスについて

このステータスを最終ステータス (テストが完了して、再テストは不要な状態) とするかどうかを設定します。

TestRail のステータスは、テストの進捗管理のデータとして利用されており、マイルストーンやテストランの <u>進捗</u>の計算に影響します。

*	Free testing webinars - browse this month's topics. Reserve your seat now!	0	渡辺浩二 が作成。マイルストーン Release 1.0 に所属
R13	ブラウザーテスト (Chrome)	<b>a</b> 21-F	テストと結果
Releas	e 1.0: Run 1 (スモークテスト)		アクティビティ
224		31 2020/12/22 <i>th</i> 5:	進捗
196		28 24 残テスト	欠陥
140		20 54% のテストが完了しました。	
112		16 <b>残作業</b> 19 54%が完了しました。	
56		8 理想的な運捗	
28		4 あと3日(予測)	
0	Start 12/23 12/25	12/27	
進捗	現在のアクティビティおよび予測に基づいて健示されたこのテストランの売 了日:	2020/12/28 素柄质、 <b>扩展</b>	
進捗 	現在のアクティビティおよび予測に基づいて提示された乙のテストランの光 了日: このデストランは4日 約に開始されました(2020/12/22)。	2020/12/28 <i>温得辰, <mark>好信</mark></i> 完了: 54% (12//224) 稱遺期間: 30h 16m 疗入/ 日: 30 時間 / 日: 4	
進捗 同 同 〇 〇	現在のアクティビティおよび予測に基づいて進示された2のテストランの光 了日: 207ストランは4日前に開始されました(2020/12/22)。 メトリクス 見限り値	2020/12/28 <i>高雨凉、<b>北</b>屋</i> 党了:54%(12/224) 福通期間: 30h 16m 疗入/日: 30 時間/日: 4 予測區	
進捗 一 。	現在のアクティビティおよび予測に基プルで携示された2のテストランの光 了日: 20アストランは4日前に開始されました(2020/12/22)。 メトリクス 見様り値 売了済み 10h 50m	2020/12/28 <i>高雨凉、加量</i> 党了54%(12/224) 編通期間: 30% Km 疗太F / 日: 30 時間 / 日: 4 子別個 T/h 5m	
進捗 同 。	現在のアクティビティおよび予測に基づいて現示されたこのテストランの光 了日: このデストランは4日前に開始されました(2020/12/22)、 メトリクス 見様り値 見て調み 10h 50m T0D0 10h 10m	2020/12/28 <i>温得乐, II量</i> 完了: 54% (12//224) 释道期間: 30h 16m 劳力/目: 4 予用值 17h 5m 14h 13m	

デフォルトで用意されているステータスは、以下のステータスが最終ステータスです。

- Passed
- Blocked
- Failed

それ以外の Untested、Retest は最終ステータスではありません。

#### 4-5-2. ステータスはアクティブについて

結果の追加画面の <u>ステータス</u> プルダウンに表示されるようにするには、ステータスが <u>アクティブ</u> である必要があ ります。

不要になったステータスは非アクティブに変更してください。

4-6. UI スクリプト

TestRailのUI (ユーザーインターフェイス)をカスタマイズして画面の一部を強調したり、不要なボタンを非表示に することができます。

UI スクリプトの追加には、基本的な HTML、CSS、および JavaScript の知識が必要です。

詳細は、オンラインマニュアル の以下の章をご確認ください。(サンプルコードも掲載されています。)

■ UI スクリプト

4-7. リンク

- ■前の章:3.プロジェクト作成
- ■次の章:5.テストケースのインポート
- 関連マニュアル:カスタム フィールドの設定

# 5. テストケースのインポート

本章では、テストケースのインポートについて記載します。 これまで外部ファイルで管理していたテストケースを TestRail で管理するには、テストケースをインポートする必要があります。

インポート可能なフォーマットは以下の通りです。

- XML: TestRail 固有のフォーマットに対応した XML ファイルからテストケースをインポートできます。
  - 「既存テストケースの更新 (テストケースIDで紐づけ)」、「新規テストケースの追加」いずれかを選択します。
    - TestRail のテストケースを外部で編集後、再インポートする場合に適してます。
- <u>CSV</u>: CSV ファイルに定義されたテストケースを TestRail の項目とマピングしてインポートできます。
  - インポートするテストケースは新規テストケースとして追加されます。(既存のテストケースの更新は出来ません。)
  - Excel 等で管理されているテストケースを TestRail にインポートする場合に使用します。

#### 5-1. テストケーステンプレートを決定する

TestRail にはテストケースの内容によって使い分けることができる3つのテストケーステンプレートを用意しています。

テストケースをインポートする前に、既存のテストケースをどのテンプレートでインポートするかを決める必要が あります。

テンプレートは1ケース毎に変更できますが、CSV インポートでは1度に1つのテンプレートのテストケースし かインポートできません。異なるテンプレートのテストケースは分けてインポートしてください。

5-1-1. Test Case (Text) テンプレート

Test Case (Text) は 1 つの前提条件、テスト手順、期待する結果、および実際の結果を入力する場合に使用します。

セクション* Prerequisites 見積り	テンブレート* Test Case (Te 参照	タイプ* ext) ・ Other	優先度 * Medium	Ŷ
Prerequisites 見積り	▼ Test Case(Te	ext) V Other	✓ Medium	~
見積り	参照	<ul> <li>Automotion</li> </ul>		
		Automation	Туре	
		None	~	
econditions				III 🔛
e preconditions of this	test case. Reference	other test cases with [C#](e	.g. [C17]).	
eps				🔛
le required steps to exe	cute the test case.			
				📖 🖂
pected Result				
pected Result				
xpected Result				

5-1-2. Test Case (Steps) テンプレート

Test Case (Steps) は 1つのテストケース内で複数の手順、手順毎に期待される結果、および結果の入力をする場合に使用します。

結果を登録する時は、各手順毎の結果を登録することができます。

クション*	テンプレート *	タイプ*	優先度*	
Prerequisites	<ul> <li>Test Case (Steps)</li> </ul>	✓ Other	✓ Medium	
見積り	参照	<u>2</u> Automation Type		
		None	~	
conditions				
e oreconditions of this test ci	ase. Reference other test cases with [C#][e			
e preconditions of this test ca	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]).		
e preconditions of this test or	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]).		
e preconditions of this test or	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]].		
e preconditions of this test co <b>tps</b> 1 手順の取明	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[017]). 期待される結果		0
e preconditions of this test co <b>PS</b> 1 手用的の規模用	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]). 期時される結果		0
e preconditions of this test cr tps 1 手順の規明	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[C17]). 期時された私来		•
e preconditions of this test cr h <b>ps</b> 「 手」随の武規明	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[017]). 期待される結果	_	•
e preconditions of this test co eps 1 手用のの説見明 2 (本日時でと年8日	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[C17]J. 期待される結果 期時される結果		C 2 2
e preconditions of this test co <b>PDS</b> 1 手用的の点式形用 2 手用物の点式形用	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]」 期待される結果 期待される結果		0
e preconditions of this test co <b>Pps</b> 1 手順の現現明 2 手川路の現現明	ase. Reference other test cases with [C#](e	g.[C17]). 期時される結果 期時される結果		
e preconditions of this test co <b>pps</b> 1 手川路の近党時 2 手川路の近党時	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[C17]). 期待される結果 期待される結果		
e preconditions of this test co eps 1 手用数の変更明 2 手用数の変更明	ase. Reference other test cases with [C#](e	g.[C17]). 期待される結果 期待される結果		
e preconditions of this test co <b>Pps</b> 1 手用の近常用 2 手用物の近常用 5 手用物の近常用	ase. Reference other test cases with [C#](e.	g. [C17]). 期待される結果 期待される結果 期待される結果		
e preconditions of this test co <b>PDS</b>	ase. Reference other test cases with [C#](e	9.[C17]J. 期待される結果 期待される結果 期待される結果		
e preconditions of this test c. eps 1 手用数の変更明 2 手用数の変更明 3 手用数の変更明	ase. Reference other test cases with [C#](e	g.[C17]). 期待される結果 期待される結果 期待される結果		

# 5-1-3. Exploratory Session テンプレート

探索的テストの実施に合わせてミッションとゴールを登録できます。探索的テストを実施する場合に使用します。

セクジョン* アンブレート* タイブ* 優先度* Prerequisites	テストケースの追加					
セクション* アンプレート* タイプ* 優先度* Prerequisites      Exploratory Session      Other      Medium      Automation Type     None      None      Iission      Iission      Exploratory Session      Iission      Exploratory Session      Iiission      Exploratory Session      Exploratory      Exploratory Session      Exploratory      E	ቃ <b>ィ</b> トル *					
セクション* Prerequisites Prerequ						
Prerequisites       Exploratory Session 、 Other       Medium         見積り       参照       Automation Type         None       None       Image: Comparison of the set of the	セクション*	テンプレート *	タイプ・		優先度*	
見積り 参照 Automation Type None ✓  fission □ □ □  chigh-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.  ioals □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Prerequisites	✓ Exploratory Session	✓ Other	~	Medium	~
Itission   Itission Iti	見積り	参照	2 Automation Type			
tission			None	~		
high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.	Mission					<b>m E Q</b>
high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.						
high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.						
high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.						
high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.						
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.	A high-level overview of w	hat to test and which areas to	o cover, usually just 1-2 sente	ences.		
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.	Goals					III 🖬 🖬 🕄
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.						
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.						
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.						
detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.						
	A detailed list of goals to c	cover as part of the explorator	y sessions.			
ノーテフトカーフの追加 リーノ 連続して追加 リーメ キャンセル						

#### 5-1-4. カスタムテンプレート

TestRail に用意されている 3 つのテンプレートとは別に、ユーザー独自のテストケーステンプレートを作成することも可能です。

詳細は、カスタマイズ の <u>テンプレート</u> をご確認ください。

5-2. 既存のテスト項目から不足しているフィールド、項目値を洗い出す

TestRail 上に既存のテストケースの項目と対応するフィールドが存在しない場合は、インポート操作の前にカスタ ムフィールドを用意してください。

テストケースの <u>ケースタイプ</u>と <u>優先度</u>の各フィールドは、いくつかの項目値が TestRail にあらかじめ用意されて います。インポートする既存のテストケースの項目値と合わない場合は、項目値をカスタマイズしてください。

カスタムフィールドの追加、ケースタイプと優先度の変更については、 カスタマイズ をご確認ください。

#### 5-3. テストケースインポート (CSV)

Excel ファイル、Google Docs/Spreadsheets ファイルで管理しているテストケースを TestRail にインポートする には、<u>CSV インポート</u>を利用します。

なお、日本語文字列を含むテストケースをインポートする場合は、CSV ファイルのエンコーディングを <u>UTF-8</u> としてください。Shift-JIS の場合、インポートする文字列が文字化けします。

#### 5-3-1. Excel ファイルを CSV 形式に変更する

Excel の [ファイル] > [名前を付けて保存] でファイルの種類を [CSV (カンマ区切り) (\*.csv)] を指定して保存します。 これにより、テストケースを CSV ファイルとして保存し、TestRail にインポートできます。

TestRail がテストケースを認識できるように、Excel シートのレイアウトを単純化する必要がある場合があります。 テストケースごとに1行または複数行の単純なレイアウトを使用することをお勧めします。

#### 5-3-2. Google Docs/Spreadsheets ファイルを CSV 形式に変更する

Google Docs/Spreadsheets の [File] > [Download] をクリックし、<u>.csv</u> を選択すると、データを CSV ファイルに エクスポートし、TestRail にインポートできます。

#### 5-3-3. テストケースをインポートする

テストケースをインポートするプロジェクトの <u>テストケース</u> または <u>テストスイートとケース</u> タブを開きます。 画面上部のアイコンが並んだところから、<u>CSV インポート</u> を選択します。



ダイアログ画面で設定を進めていきます。

1/4 画面

インポートするファイル、インポート時のオプションを設定します。

CSV からインポート		
ファイルおよび設定の	) <b>0</b> -K	1/4
ファイル (10MBまで)*		
ファイルを選択	選択されていません	
フォーマットとマッピング		
◎ 新規マッピング(	D設定	
○ 設定ファイルか	5マッピングをロード	
詳細オプション		
インポート先	~	
ファイル エンコーディング	UTF-8 - 日本語はUTF-8を選択 🖌	
CSV 区切り文字	, 通常は,または;または\t(タブを表す)	
開始行	1 🗹 ヘッダー行	
テンプレート	Test Case (Text) インポートされたケースに適用するテンプレート	
次へ → × キャ)	ノセル	

ファイル (10MBまで)

項目	概要
ファイルを選	TestRail にインポートする CSV ファイルを選択します。
択	ファイルサイズは最大 10MB です。10 MB を超えるサイズのファイルをインポートするには、 ファイルを分割する必要があります。

フォーマットとマッピング

項目	概要
新規マッピングの	CSV ファイルと TestRail 項目を手動でマッピングします。
設定	初めてインポート機能を利用する場合や新しいマッピング設定を利用する場合はこちらを 選択してください。
設定ファイルから マッピングをロー	事前に、設定ファイルに保存したマッピング設定を使って、CSV ファイルと TestRail 項目 をマッピングします。
Ќ	設定ファイルは、初回のインポート操作後にダウンロードすることができます。

詳細オプション

項目	概要
インポート先	テスト ケースを追加するベースのセクションを選択します。CSV ファイルからインポートされ た新しいセクションおよびケースは、このセクションの下に追加されます。
ファイルエン	CSV ファイルのファイル エンコーディングです。
コーディング	日本語文字列を含むテストケースをインポートする場合は、UTF-8 エンコーディングを選択し ます。
CSV 区切り文 字	CSV の列を区切る区切り文字を選択します。
開始行	TestRail が CSV ファイル内のテストケースの検索を開始する行のインデックスを指定します (1 から開始)。これは、CSV ファイルの先頭の行を無視またはスキップするために使用できま す。
ヘッダー行	上で設定した「開始行」がヘッダー行かどうかを示します。ヘッダー行は CSV ファイルを説明 する列名を含みます。
テンプレート	インポートされたテスト ケースに使用するケース テンプレートを選択します。

2/4 画面

CSV ファイルの列名と TestRail のフィールドをマッピングします。

CSV からインポート		
列と行のレイアウトをマッピング		2/4
- TestRail は CSV ファイルを解析し、次の CSV ゑ CSV 列を TestRail のフィールドにマッピングしてく	りを検出しました。 ください。	行のレイアウト(単一行/複数行)を設定し、
行レイアウト		
○ テストケースは単一行を使用する		
● テストケースは複数行を使用する <u>詳細</u>		
新規テストケースの検出に使用する列:	<del>9</del> 1ኑル	~
CSV 列	-	TestRail フィールド
タイトル	→	~
重要度	→	~
種別	→	~
事前準備	→	~
テスト手順	→	~
結果の確認方法	→	~
☑ タイトルがないテスト ケース/レコードを無視す	る(例: ファイル末	尾の空のレコード)

行レイアウト

項目	概要
テストケースは 単一行を使用す る	1/4 画面においてテストケースのテンプレートを Test Case (Text) および Exploratory Session テンプレートを選択していて、CSV ファイル内のテストケースが 1 行 1 ケースの場 合はこちらを選択します。
テストケースは 複数行を使用す る	1/4 画面においてテストケースのテンプレートを Test Case (Text) および Exploratory Session テンプレートを選択していて、CSV ファイル内のテストケースが複数行で1ケース の場合 (テスト手順が複数行で定義されているなど)はこちらを選択します。
	1/4 画面においてテストケースのテンプレートを Test Case (Steps) を選択している場合は こちらを選択します。
新規テストケー スの検出に使用 する列	新しいテストケースの開始を検出する列 (たとえば、テスト ケースごとに一意の <u>ID</u> 列または <u>名前/タイトル</u> 列) を選択してください。

マッピング

項目	概要
CSV 列	インポートする CSV ファイルのヘッダー行から取得した項目名が表示されます。
TestRail フィールド	CSV ファイルの項目に合うように、右で TestRail のフィールドを選択します。

タイトルがないテストケース/レコードを無視する(例:ファイル末尾の空のレコード)

- チェックボックスをチェックすると、CSV内で「タイトル」が空値の行は、テストケースとして認 識せず、スキップします。これにより、CSVファイルの末尾の空白行を無視することができます。
- 行レイアウトの<u>新規テストケースの検出に使用する列:</u>で "タイトル" を選択している場合、テストケースが正しくインポートできなくなります。<u>新規テストケースの検出に使用する列:</u>の選択値を "タイトル"以外にするか、このチェックボックスを外してください。

3/4画面

2/4画面においてマッピングした TestRail のフィールドが、プルダウン、リスト、ラジオボタンなどの、値を選択 するタイプのフィールドだった場合、CSV の値と、 TestRail のフィールド値をマッピングします。

- マッピングが必要な項目分、設定を行います。
- TestRail 側に適した値が無い場合は、ケースフィールドをカスタマイズしてください。
- 例)下の画面では、CSV ファイルの <u>重要度</u> フィールドと、TestRail の <u>優先度</u> フィールドの値をそれ ぞれマッピングしています。

の入力 ツノ CIA、USV の連条 TestRail にマツド	151 ++	ALAL OOV TRAILE MAN	いいという信告中
直がある場合、このステップで、値を TestRail	クラします の優先度	。 たとえは、USV ファイルに Medi Low または Normal にマッピング	um という愛元度。 「できます。
עריד ביי איין די			
<ul> <li>CSV の値から HTML タグを除去</li> </ul>			
重要度 → 優先度			
1	-	Low	~
2	-	Medium	~
3	$\rightarrow$	High	~
重別 → タイブ			
パフォーマンス	-	Performance	~
マニュアル記載			~
万地性	-		
		Acceptance	
		Accessibility	
		Automated	
		Destructive	
前へ 次へ → × キャンセル			
前へ 次へ → × キャンセル		Functional	
前へ 次へ → × キャンセル	_	Functional Other	

4/4画面

インポートするテストケースのプレビューを確認します。最大で5件のテストケースプレビューが表示されます。

- プレビューで表示される内容が意図した内容ではない場合、前へボタンで前の設定画面に戻り、設定を見直してください。
- インポートされるテストケース数が、正しいことを確認してください。

stRail は CSV ファイル インボートしてください。 ,	こ 4 個の テスト ケース を検出しました。 先頭の数個のケースを確認してから c .前へ] ボタンで戻り、 ファイル設定および列または値のマッピングを変更するこ	SV ファイ とができ
<b>ケース 1</b> : (テストケース)	追加)組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認	する
テンプレート	→ Test Case(Text)	
タイプ	→ Performance	
優先度	→ Low	
Automation Type	→ None(デフォルト)	
Preconditions	→ パフォーマンス計測用マシン(要予約)それ以外の準備物はC29を 照。	46
Steps	<ul> <li>→ 1. ブロジェクト選択画面: Demoを開く</li> <li>2. 耐久テスト用テストデータを選択する 3.画面表示が正しく行われ かを確認する</li> </ul>	13
Expected Result	<ul> <li>→ 過去の耐久テスト結果と比較し、誤差範囲(5%)以内であるこ</li> <li>・ 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。</li> </ul>	Ł.

## 5-3-4. Test Case(Steps) テンプレートのテストをインポートする場合の注意事項

<u>Test Case(Steps)</u> テンプレートにテストケースをインポートするには、一つのテストケースに対して "手順" と "期待される結果" を複数行に分割して用意してください。

		A		В		С
1	タイト	ν	手順			期待される結果
2	複数手	順のテスト①	1. ファイル	閨択画面:AAA	を開く	1. AAAが開く
3			2.ファイル	閨択画面:BBB	を開く	2. BBBが開く
4			3. ファイル	瞿択画面:CCC	を開く	3. CCCが開く
5	複数手	順のテスト②	1. 選択画面	: AAAを開く	1	1. AAAが開く
6			2. 選択画面	:BBBを開く		2. BBBが開く
7			3. 選択画面	: CCCを開く		3. CCCが開く
	タイプ Other	優先度 Mediu	m t	見積り なし	<b>参照</b> なし	
Р	recondi	tions				/
P S	recondi 。。テー	tions 夕をAAにインボー	トする			/
P S	teps	tions タをAAにインボー ファイル違択画面: 期待される結果 AAAが聞く	トする AAAを開く			/
P S	teps	tions タをAAにインポー ファイル選択画面: 期待される結果 AAAが聞く ファイル選択画面: 期待される結果 BBBが聞く	トする AAAを聞く BBBを聞く			

インポート操作時に以下の点にご注意ください。

ファイルおよび設定のロード (1/4 画面)

"テンプレート"で「Test Case(Steps)」を選択する

列と行のレイアウトをマッピング (2/4 画面)

91217002177768398222		
「estRall は CSV ファイルを解析し、次の CSV ? CSV 列を TestRall のフィールドにマッピングして	列を検出しました。 ください。	行のレイアウト(単一行/複数行)を設定し、
テレイアウト		
○ テストケースは単一行を使用する		
● テストケースは複数行を使用する <u>詳細</u>		
新規テストケースの検出に使用する列:	タイトル	~
CSV 列	-	TestRail フィールド
タイトル	-	~
重要度	-	~
種別	-	~
事前準備	-	~
テスト手順	-	~
結果の確認方法	-	~

- "行レイアウト" で 「テスト ケースは複数行を使用する」 を選択する
- "新規テスト ケースの検出に使用する列:"で次のテストケースの行であることを判別するための列 を選択する
  - 上の CSV ファイルの画像では「タイトル」を選択することで、2~4行目が1テストケース
     目、5~7行目が2テストケース目と判断されます。
- "タイトルがないテスト ケース/レコードを無視する (例: ファイル末尾の空のレコード)" チェック ボックスを OFF にする (「タイトル」を次のテストケースの判別に使っていない場合は OFF にしな くても結構です。)

#### 5-4. テストケースインポート (XML)

TestRailのXMLフォーマットに合わせたテストケースをXMLインポートでインポートすることができます。

注意:

①TestRailのテストケースに合ったフォーマットのXMLファイルだけをインポートすることができます。TestRailとは異なるツールから出力したXMLファイルなど、TestRailのテストケースフォーマットと一致していない場合はインポートすることはできません。CSVインポートのご利用を検討してください。
 ②TestRail 6.3.1.1008には、以下の既知の問題がございます。ご利用のバージョンがTestRail 6.3.1.1008である場合、本章で示すXMLフォーマットのテンプレートを利用しても、テストケースがインポートできない場合があります。

XML ファイルを利用した新規テスト ケースの追加時にエラーが発生する

#### 5-4-1. XML フォーマット例

TestRail にインポート可能な XML のフォーマットはテストケーステンプレートごとに異なります。

デフォルトのテストケーステンプレートごとの XML フォーマット例です。

カスタムフィールドの利用状況によってはインポートエラーになる場合があります。後述する カスタムフィールド の取扱いについて をご確認ください。

TestCase (Text)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<sections>
<section>
 <!-- テストケースをインポートするセクションの名前 -->
 <name>テストケースセクション</name>
 <cases>
  <case>
   <!-- テストケース タイトル -->
   <title>XMLテストケースインポートの確認</title>
   <!-- テストケース テンプレート -->
   <template>Test Case (Text)</template>
   <!-- テストケース タイプ -->
   <type>Usability</type>
   <!-- テストケース 優先度 -->
   <priority>Medium</priority>
   <!-- テストケース 見積もり -->
   <estimate>6000</estimate>
   <!-- テストケース 参照 -->
   <references>REQ-1, REQ-2</references>
   <custom>
    <!-- テストケース Automation Type -->
    <automation_type>
    <id>0</id>
    <value> None</value>
    </automation_type>
    <!-- テストケース Preconditions -->
    <preconds>* インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。</preconds>
    <!-- テストケース Steps -->
    <steps>1. テスト用文書を開く
2. テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。</steps>
    <!-- テストケース Expected Result -->
    <expected>* テスト対象ブラウザのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと</expected>
   </custom>
  </case>
 </cases>
</section>
</sections>
```

S1552 サンプル	0 🖬 🖬 🤤	• • •	۲	2	C115078 XM	1Lテストケース1	ノンポートの確認	_ 編集
ソート順: <u>セクション</u> フィルター: <u>なし</u>	4	<u> </u>	0	==	タイプ Usability	優先度 Medium	見積り 1時間 40 分	参照 RE0-1, RE0-2
■ □ ID 9111					Automation Type None			
」 UNUXU AILI ストラース1 2000 AILI ストラース 2000 AILI ストラース 2000 AILI ガブセクションの注意加	/ WH 60				Preconditions ・ インボート Steps 1. テスト用 2. テスト対 Expected Resu ・ テスト対 添付ファイル	メニューからテストデー 文書を開く 赤機能のダイアログ It まプラウザのテスト用!	タをアブリケーションに反I を表示し、テストデータ用 解像度にて画面のレイア	映きせる。 の設定を行う。 ウトが崩れないこと

#### TestCase (Steps)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<sections>
<section>
 <!-- テストケースをインポートするセクションの名前 -->
 <name>Step</name>
 <cases>
  <case>
   <id>C115076</id>
   <!-- テストケース タイトル -->
   <title>Stepsテストケースのインポート</title>
   <!-- テストケース テンプレート -->
   <template>Test Case (Steps)</template>
   <!-- テストケース タイプ -->
   <type>Other</type>
   <!-- テストケース 優先度 -->
   <priority>Medium</priority>
   <!-- テストケース 見積もり -->
   <estimate>4000</estimate>
   <!-- テストケース 参照 -->
   <references>DH-22</references>
   <custom>
    <!-- テストケース Automation Type -->
    <automation_type>
     <id>0</id>
     <value> None</value>
    </automation_type>
    <!-- テストケース Preconditions -->
    <preconds>* 最新のマニュアルを準備すること。</preconds>
    <!-- テストケース 複数の手順と期待する結果 -->
    <steps_separated>
     <!--1 件目 -->
     <step>
      <index>1</index>
      <content>テスト用文書を開く</content>
```

```
<expected>テスト用文書が開かれること</expected>
</step>
<!--2件目-->
<step>
<index>2</index>
<content>テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。</content>
<expected>表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること</expected>
</step>
</steps_separated>
</case>
</case>
</case>
</case>
</case>
</case>
</case>
</case>>
</case>
```

y->ト焼 セクション フィルター: 茲以 + ピ ◇ ◎ 目 itep ① ピ □ D クイトル ■ □ C15077 Steps7ストケースの12ポート					_			
tep ① ピ Lo タイトル III C C115077 Step\$プストケースのインボート く スの治かに リブセクションの治か F3と時ま、     Steps III フレクションの治か Automation Type None Preconditions ・ 最新のマニュアルを準備すること。 Steps プスト用文音を聞く 開始される結果 オストオス像地能のタイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 開始される結果 表示されるタイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 開始される結果 表示されるタイアログで、デーク設定項目が正しく表示されていること 添付ファイル	ソート順: <u>セクション</u> フィルター: <u>なし</u>	4	+ 2 ~	0 ::	タイプ Other	優先度 Medium	見積り 1時間6分	参照 DH-22
I       ID       タイトル       IM       IM       IM       Im       Mone         I       C 105077       Stepsアストケースのインボート       く       Preconditions       ・       最新のマニュアルを準備すること。         I       フスト用ス 雪を聞く 開始される結果       アストガス・クリング・コングの油加       デスト用ス 雪を聞く 開始される結果       開始される結果          I       フィトガ 急慢能のダイアログを表示し、デストデータ用の設定を行う。       アスト用ス 雪が聞かれること       Im          I       アイル       Minite       Minite	tep 🕦 🖉				Automation	n Type		
C 015077 Step\$デストケースのインボート          -スの油加1サブセクションの油加       ・ 最新のマニュアルを準備すること。         Steps       ・ 最新のマニュアルを準備すること。         Steps       ・ 第約される結果 テスト用文書が聞かれること         う テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 期待される結果 表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること         遂付ファイル	I D 10 タイトル				None			
-2の治知1サブセクションの追加  ・ 最新のマニュアルを準備すること。  Steps  「 テスト用文量を開く  開待される結果  テスト用文量が開かれること  アスト対文量が開かれること  アスト対文量使用が正しく表示されていること  派付さアングル	□ C115077 Stepsテストケースのインポート			<	Preconditio	ns		
Steps       ① テスト用文書を開く       期待される結果       テスト用文書が聞かれること       ② テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。       期待される結果       表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること       遂付ファイル	-スの追加1サブセクションの追加				<ul> <li>最新</li> </ul>	のマニュアルを準備すること。		
テスト用文書を聞く					Steps			
<ul> <li>アスト市大会主席へ</li> <li>第待される結果</li> <li>テスト用文会が聞かれること</li> <li>アスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。</li> <li>第待される結果</li> <li>表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること</li> <li>添付ファイル</li> </ul>						1.田立典主題/		
テスト用文書が聞かれること ② テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 期待される結果 表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること 添付ファイル					1	「「用又首を用て		
ラスト対象機能のタイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 期待される結果 表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること 添付ファイル					77	いた用文書が開かれること		
期待される結果 表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること 添付ファイル					2 77	(ト対象機能のダイアログをま	を示し、テストデータ用の製	変定を行う。
表示されるダイアログで、デーク設定項目が正しく表示されていること 添付ファイル					期	待される結果		
添付ファイル					表示	示されるダイアログで、データ	設定項目が正しく表示さ	れていること
添付ファイル								
					添付ファイル			

**Exploratory Session** 

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<sections>
<section>
 <!-- テストケースをインポートするセクションの名前 -->
 <name>探索的</name>
 <cases>
  <case>
   <!-- テストケース タイトル -->
   <title>探索的テストケースのインポート</title>
   <!-- テストケース テンプレート -->
   <template>Exploratory Session</template>
   <!-- テストケース タイプ -->
   <type>Other</type>
   <!-- テストケース 優先度 -->
   <priority>High</priority>
   <!-- テストケース 見積もり -->
```

```
<estimate>3600</estimate>
   <!-- テストケース 参照 -->
   <references>DH-17</references>
   <custom>
    <!-- テストケース Automation Type -->
    <automation_type>
    <id>0</id>
    <value> None</value>
    </automation_type>
    <!-- テストケース Mission -->
    <mission>〇〇であることを確認する</mission>
    <!-- テストケース Goals -->
    <goals>システム内全ての画面(全XX画面)で確認が完了している</goals>
   </custom>
  </case>
 </cases>
</section>
</sections>
```

S1552 サンプル	₲ ₢ ₢ ₲ ₪ ▾ ◈ ∠	C115078 探索的テストケースのインポート	<u> </u>
y-ト陳: <u>セクション</u> フィルター: <u>なし</u> 探索的 <b>③ ∠</b> ■ □ 10 タイトル	+ 2 - 0 11	タイプ 優先度 見積り Other High 1時間 Automation Type None	参照 DH-17
<ul> <li>C116076 探索的デストケースのインボート</li> <li>ケースの追加・サブセクションの追加</li> </ul>	¢	Mission ○ であることを確認する Goals システム内全ての面面(全xx面面)で確認が完了している 添付ファイル	

#### 5-4-2. カスタムフィールドの取扱いについて

カスタム フィールドは、<u>custom</u> タグの下にグループ化され、XML 識別子/タグとして ([管理] > [カスタマイズ] で 設定した) <u>システム名</u>を使用します。

インポート形式と動作の詳細は、実際のカスタムフィールドのタイプによって異なります。

次の表は、さまざまなカスタムフィールドタイプのインポート形式の一覧です。

タイプ	サンプル値	説明
Checkbox	true	"true" または "false" (引用符なし)
Date	2010-07-01	yyyy-mm-dd 形式の有効な XML 日付文字列
Dropdown	<id>5</id>	<id> タグで囲まれた値の ID (管理エリアのカスタム フィー ルド オプションで設定されている)</id>
Integer	1022	単純な整数
Milestone	<id>2</id>	<id> タグで囲まれたマイルストーンの ID</id>
Multi-select	<item> <id>1</id> </item> <item> <id>2</id> </item>	<item> レコードのリスト。それぞれ独自の ID を持つ (Dropdown 値のリストのように)</item>

Steps	<step> <index>1</index> <content>Step 1<content> <expected>Result 1<expected> </expected></expected></content></content></step> <index>2</index> <content>Step 2<content> </content></content>	<step> レコードのリスト。それぞれ独自のインデックス、 コンテンツ、およびオプションとして期待される結果を持つ。</step>
String/Text	Foobar	単純な文字列
URL (Link)	http://google.com/	文字列としての単純な URL
User	<id>3</id>	<id> タグで囲まれたユーザーの ID</id>

ヒント

インポート機能とエクスポート機能は同じファイル形式を使用しています。

ご利用環境でカスタムフィールドを利用しているなど、XML フォーマットが複雑な場合は、既存のテストスイート のエクスポート機能を利用して XML フォーマットを確認したり、エクスポートしたファイルに、テストケースを 定義すると便利です。

※インポートする時、TestRail に元々存在していたテストケースを再追加しないようにご注意ください。

5-5. リンク

- ■前の章:4.カスタマイズ
- 次の章:6.高度な設定
- 関連マニュアル:カスタム フィールドの設定
- 関連マニュアル:テスト ケースとセクションのインポート (Excel/CSV)
- 関連マニュアル: テスト ケースとセクションのインポート (XML)

6. 高度な設定

本章では、TestRail をより効果的に利用していただくための設定について説明します。

#### 6-1. TestLink からの移行

TestLink から TestRail への移行用のスクリプトを用意しています。

スクリプトを利用することで、TestLink からエクスポートした XML ファイル TestRail の XML インポートファイ ル形式に変換できます。

詳細は移行:TestLink をご確認ください。

#### 6-2. 課題/要件管理ツール連携

TestRail と課題/要件管理ツールを統合すると次のことができるようになります。

- 課題/要件管理ツール共通
  - TestRail 上から統合したツールのチケット画面を開く
    - 要件や課題チケットをテストケース/テスト結果/テストランと関連付けている 場合に、TestRail からチケット画面に遷移することができます。
  - TestRail 上から統合したツールの新規チケット登録画面を開く
    - TestRailのテストケース/テスト結果/テストランから要件や課題チケットの新 規登録画面に遷移し、チケットを登録することができます。
  - TestRail 上から統合したツールのチケット情報を閲覧する
    - 要件や課題チケットをテストケース/テスト結果/テストランと関連付けている 場合に、TestRailから移動せずにチケット情報を確認することができます。
- 課題管理ツール
  - TestRail 上から統合したツールの新規チケットを登録する
    - TestRailのテスト結果から課題管理ツールへ移動せずに新規課題チケットを登録することができます。

#### 6-2-1. 欠陥 - 課題管理ツール連携

欠陥機能を利用して TestRail と課題管理ツールを連携すると、課題管理ツールに保存されたバグや課題と TestRail のテストおよびテスト結果をリンクすることができます。

欠陥機能では以下の2つをサポートしています。

- 欠陥 URL
- 欠陥プラグイン

欠陥 URL

欠陥 URL を使用すると、以下のことができるようになります。

- TestRail から課題管理ツール上の、新規課題/チケット作成画面に遷移して新しい課題/チケットを作 成する
- TestRail から課題管理ツール上の 課題/チケットページに遷移する

欠陥 URL は [管理] > [統合] > [欠陥] タブ で設定することができます。

欠陥	参照
欠陥表示	URL
欠陥トラッ %id%を修	カーのケースの Web アドレスです。実際のケース ID のプレースホルダーとして 5月します。 <u>詳細</u>
欠陥追加	I URL
欠陥トラッ	カーに新しいケースを追加する際に使用する Web アドレスです。 <u>詳細</u>

欠陥表示 URL

課題管理ツールの課題/チケットを表示するための URL アドレスです。

テスト結果の 欠陥 フィールドに課題管理ツールの課題/チケットの ID を登録しておくと、TestRail から画面遷移 することができます。

欠陥表示 URL に登録する URL の形式はご利用の課題管理ツールによって異なります。 TestRail と統合可能なツー ルと、そのツールの詳しい設定方法については、TestRail の統合 <u>ツールごとの手順</u> をご確認ください。

動作例

■ テスト結果の欠陥フィールドに課題/チケットの ID を設定 (ここでは 123 を指定)

結果の追加	×
ステ−タス* Failed ✓	<b>アサイン</b>
<ul> <li>アスト ステーダスを設定します (Passed, Failed など)。</li> <li>コメント 回日</li> <li>スクリプト実行中にエラーが発生</li> </ul>	他のナームメンバーに割り当てます。
	テストしているバージョンです。  経過期間  開始
テスト結果の説明です。	テストにかかった時間です。
添付ファイルはありません。	<b>欠陥</b> <u>プッシュ</u> 追力
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照し。 す。	ま パグトラッカーの ID のリストです。
L	
✓ 結果の追加 × キャンセル	
入力した ID がリンクになります。	

定	14		0-	覧に欠陥フィール!	ドを表示した場合	5
	ID	タイトル	欠陥	担当者	ステータス	==
	T3700	組み込みテーマ	123		Failed 🗸	<
	T3701	ページの色を変		鈴木孝	Failed 🗸	>
	T3702	複数ページの文		加藤美穂	Blocked 🗸	>
	T3703	アドインのインス			Retest 🐱	>
	T3704	文書のマージン		中村俊哉	Passed V	>
	T3705	複数ページの文			Passed 🗸	>
	T3706	マルチモニターシ		小林麻美	Blocked V	>
	T3707	新しいレビューデ			Passed V	>
	T3708	通貨が異なる			Untested 🗸	) >
	T3709	文書に脚注を			Untested 🗸	) >

■ リンクをクリックすると、課題管理ツール (ここでは Redmine) の課題/チケットに遷移します。

< → C ▲	保護されていない通信   18.236.40.152/re	dmine/issues/123	欠陥表示URLE	c設定したUR	レのプレー	スホルダ	ーが置き	操わってい	🕹 🗅	• *	Θ:
ーム マイページ プロジ	ジェクト 💭 リソースマネジメント 💭 プロジェクトレオ	* 0 9747*9*>+	111 NJ 03	7=17%				ロダイン中	: takashi m	MARE O	コダアウト
ウェブサイ	トのリニューアル(EVM)					検索:		9	エブサイトの	リニューア	w( ▼
+ <b>R</b> R X1	ロードマップ チケット 🗘カンバン	◎ バックログ 作業時	🖩 🛛 ガントョ	Ринн ша	ース文書	Wiki	ファイル	O EVH	<b>₽</b> レポート	192	
機能 #123	該当する課題/チケットのペー	2 編集(	🔒 時間を記録 🖄	ウォッチ 躍り	-ケット制造回	© ⊐Ľ-	8 88	チケット			
<b>111</b> 112	シア表示される 2:5時 テスト1							すべてのチク	ケットを表示		
大殿計一	テスト10							サマリーインボート			
大橋 宏行	〒が約2ヶ月前に追加,約13時間前に更新,							チケットセッ Lycheeガン	ットからチケッ トチャート	卜作成	
ステータス:	將了	開始日:		2020/12/07				マイカスタ	ワムクエリ		
優先度:	道堂	期日:		2020/12/08				demo			
担当者:		実開始日:		2020/12/08				A+w∓*	7 (0)		
Mar(-232.		進捗率:		2020/12/09	100%			94971	(0)		XILUA
		予定工数:		5.00時間							
# 15 kg		作業時間:		5.00時間							
小1 シト: - * 力テゴリ2	1										
-HKKE		作業難易度:		9							
チケットセットから	子チケット作成						進加				
子チケット							38.70				
関連するチケット							38.00				
次のチケットに後続 #179: バグ_面面レ	(3日) ウェブサイトのリニューアル(EVM) - バ イアウト3	グ 新規 20	20/11/02	2020/12/03	-	-	\$				
電歴											
が15日前に更新							#1				
<ul> <li>ステータス を</li> <li>進捗率 を 0 カ</li> </ul>	新規 から 終了 に変更 ら <i>100</i> に変更										
		2 128 (	BANDELICAR 🖈	ウォッチ 聞き	「ケット間違回	0 22-	-				
				他の利	形式にエクスポ	— 1-: 🖻 Ab	om   PDF				
		Powered by Redn	mine © 2005-201	9 Jean-Philippe	Lang						

欠陥追加 URL

課題管理ツールに新しい課題/チケットを追加する画面を表示するための URL アドレスです。

この URL を使うと、テスト結果の登録画面から課題管理ツールの新規課題/チケット追加画面に遷移することができます。

欠陥追加 URL に登録する URL の形式は、ご利用の課題管理ツールによって異なります。TestRail と統合可能なツー ルと、そのツールの詳しい設定方法については、TestRail の統合 <u>ツールごとの手順</u> をご確認ください。

動作例

■ 「結果の追加」画面において欠陥フィールド横の<u>追加</u>リンクをクリックします。

ステータス *	アサイン
Failed 🗸	
Fストステータスを設定します (Passed、Failed など)。	他のチームメンバーに割り当てます。
リメント 🔤 🗖 🔮	バージョン
	テストしているバージョンです。
	経過期間
てた結果の説明です。	テストにかかった時間です。
☆付ファイルはありません。	<u>欠陥 プッシュ</u> 追
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照しま す。	パグ トラッカーの ID のリストです。

■ 課題管理ツール (ここでは Redmine) の新規課題/チケット作成画面が起動します。

ジェクト 活動 🛛	・ケット 作業時間 ガントチャート ◎ガントチャート カレンダ・		
<i>い</i> チケット			
プロジェク	フト* Redmineプラグインの開発(LGC) V		0 754
トラッカ	9* 機能 ▼		
1	16 *		
	1218 B / U S C m m m m m m m m	• • • •	
ステーク	タス* 新規 🗸	親チケット 🔍	
@s	波 * 通常 *	開始日 2020/12/23 🗂	
21	レープ	<b>期日</b> 年 /月/日 📋	
1	1961者 🔹 👻	実開始日 年 /月/日 📋	
カラ	0 V	実終7日 年 /月/日 日	
対象パー:	795 V Q	予定工数 持聞	
		進辞室 0 %	
**-	(>1		
カテゴリ2			
=	4<×1	作業難組度	
77	アイル ファイル選択 選択されていません (サイズの上配: 5 MB)		
	Fヤー 🗌 冨田 健同 📃 大橋 窓行	□ 安井 久雄	
9x97		111.07 101.000	

■ 課題/チケットを作成して、課題/チケット ID を取得します。

Redmi	neプ	ラグイン	の開発	៖(LGC)							検索:	
+ 418	活動	ロードマップ	ቻታット	ロカンバン	<mark>0</mark> バックログ	作業時間	<b>○</b> ガン	トチャート	文書	Wiki	ファイル	O EVI
🖋 チケッ	h #24	78 が作成されま	した。									
機能 #2	478					<u>/ #</u> # @	時間を記録	☆ ರೆಸಲ್	留チク	「ット間違図	() 2Ľ–	官 削除
水	組み込ん	みの印刷プレ が1分以内前に追加	ビュード	ライバでエラ	一表示							
ステータス:		新規			開始日	3:		2020/12	/23			
優尤度: 担当者:		進帛			期口: 実開始	:B						
カテゴリ:		-			実終了	7B:						
対象バージョ	≡>:	-			進持續	¥:			09	6		
ポイント・					予定]	[数:						
- x カテゴ	12											
:4<%					作業業	(易度:						
説明												♀ 引用
画面表示が	κæ											
チケットセ	ットから	子チケット作成										遍加
<del>7</del> チケット												通加
関連するチク	ታቃՒ											通加
						/ 16% G	時間を記録	☆ ರೆ≭ಲ್	명 チク	ット開達図	© ⊐ピ-	10 NR
									他の形法	式にエクスオ	(— Ի: 🔝 At	om   PDF

■ 取得した ID を TestRail の「テスト結果の追加」画面 の <u>欠陥</u> フィールドに登録します。(自動で登録 されないため、手動で登録する必要があります。)

ステータス *	アサイン
Failed 🗸	~
テストステータスを設定します (Passed、Failed など)。	他のチームメンバーに割り当てます。
אלאנ 🖽 🖾 🕄	バージョン
	テストしているパージョンです。
	<b>経過期間</b> 開始
テスト結果の説明です。	テストにかかった時間です。
忝付ファイルはありません。	<b>欠陥</b> ブッシュ 追加
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照しま す。	2478 パグトラッカーの ID のリストです。

テスト結果を登録後 欠陥表示 URL の機能を使って、テスト結果から課題管理ツールの課題/チケットにアクセスすることができます。

欠陥 プラグイン

欠陥プラグインを利用すると、以下のことができるようになります。

- TestRail から課題管理ツールの新規課題/チケットを作成する
- TestRail から課題管理ツールの課題/チケット情報を閲覧する

欠陥プラグインは [管理] > [統合] > [欠陥] タブ で設定することができます。

<b>値プラグイン</b>
~
tRailと欠陥トラッカーを統合するためのブラグインです。 グローバル設定を使用する場 t空のままにします。 プラグインの設定は下で行うことができます。 <u>詳細</u>
値トラッカ−とセキュアな接続を行うために、HTTPSを使用してください。ユーザーおよび (ワードを安全に保存するため、ユーザー変数を使用することが推奨されます(ユーザーご) )グインをカスタマイズするのにも使用できます)。 <mark>詳細</mark>
欠陥ダイアログの説明フィールドに表示されるテンプレートを入力します。

プルダウンから、連携する課題管理ツールを選択します。利用できる課題管理ツールについては、TestRail の統合 ツールごとの手順 をご確認ください。

	~
Assembla	<ul> <li>▲ -バル設定を使用する場</li> <li>★ ###</li> </ul>
Axosoft / OnTime REST	9 · <u>#±#</u>
Axosoft / OnTime SOAP (old versions)	
Axosoft_v17_REST	
Bitbucket	
Bugzilla	
Email	
Gemini	
GitHub	
JIRA Cloud	
JIRA REST (JIRA Server 5.x, 6.x, 7.x and later)	
JIRA SOAP (JIRA Server 3.x, 4.x)	
Lighthouse	
Mantis	
Manuscript	77531 7_#_\$175
PivotalTracker	(推明されます(コーザーブン
Rally	11#360108911-97-CC
Redmine	

ツールを選択すると、自動で設定に必要な項目が下のテキストフィールドに挿入されますので、ご利用の環境に合わせて変更してください。



課題管理ツールのユーザー名、パスワードを、共通で使用せず、TestRail のログインユーザー毎に変更されたい場 合は、ユーザー変数を利用します。各ユーザーの個人設定から、課題管理ツールへのログインユーザー、パスワー ドを設定することができるようになります。

ユーザー変数の利用方法は、欠陥:ユーザー変数をご確認ください。

動作例

■ テスト結果の欠陥フィールドの <u>プッシュ</u> リンクをクリックします。

ステータス*	アサイン
Passed 🗸	~
テストステータスを設定します (Passed、Failed など)。	他のチームメンバーに割り当てます。
אלאן 🖽 🖾 😮	バージョン
	テストしているバージョンです。
	経過期間 開始
テスト結果の説明です。	テストにかかった時間です。
忝付ファイルはありません。	欠陥 ブッシュ 自力
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照しま す。	バグ トラッカーの ID のリストです。
✓ 結果の追加 × キャンセル	

 表示される「欠陥のブッシュ」画面に課題/チケットの登録に必要な情報を追加して 登録 ボタンを 押下します。

		territoria di s	
>フッカー*		プロジェクト*	カテゴリー
バグ	~	Redmineプラグインの開き 🗸	フロント 🗸
3575・文書のマー	ジンを変更し	PDFTクスポートとの相互運用	計技をテフトする
3575: 文書のマー	ジンを変更し	、PDFエクスポートとの相互運用	門性をテストする
ttp://18.236.40	.152/testra	ail/index.php?/tests/view/3	575
3575: 文書のマー	ジンを変更し	、 PDFエクスポートとの相互運用	1性をテストする
ttp://18.236.40	.152/testra	ail/index.php?/tests/view/3	575
3575: 文書のマー	ジンを変更し	,、PDFエクスポートとの相互運用	9性をテストする
ttp://18.236.40	.152/testra	ail/index.php?/tests/view/3	575
3575: 文書のマー	ジンを変更し	、 PDFエクスポートとの相互運用	3性をテストする
ttp://18.236.40	.152/testra	ail/index.php?/tests/view/3	575

■ 登録に成功すると「結果の追加」画面の 欠陥 に自動で、課題/チケット ID が挿入されます。

ステータス*	アサイン
Failed テストステータスを設定します (Passed、Failed など)。	他のチームメンバーに割り当てます。
אַראַן 🖽 🖾 🕄	バージョン
	テストしているバージョンです。
	経過期間 開始
テスト結果の説明です。	テストにかかった時間です。
穒付ファイルはありません。	欠陥 ブッシュ 追加
ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照しま す。	2479 パクトラッカーの ID のリストです。
/	

■ 結果を追加すると、TestRail 上から課題/チケット ID のリンクを利用して、課題管理ツール (ここで は Redmine) 上の課題/チケットを確認できます。

_		7.0-				<b>6</b> +1	. +1			_
Failed		このティ	ィト/J'Fai	led' EL	1(4-	-221	ぼし	-		
2020/12/23	16:56 吉									
田翔太 編集	[									
	-									
欠陥										
2//70										
24/3										
dmineプラク	ブインの開発	(LGC)							検索:	
概要 活動 口	ドマップ チケット	ロカンバン	<mark>0</mark> バックログ	作業時期	<b>○</b> ガン	トチャート	文書	Wiki	ファイル	0
A #2470				/ HE ()		* ****			- N - N -	
9 #2479				C 16.00 1 100 1	17180 YE BUSHR	# 9797	12.79		1 (0) 26-	
Eailed test	文書のマージンあ	·亦市I, PD	FTクスポー1	との相互	海田性	キテスト	まる			
水口 = +KAGE		SECON PD	12/2/10/1	20/184	DEMILE		5.0			
テータス:	新規		開始日			2020/12	2/23			
先度:	通常		期日:							
当者:	-		実開始	8:						
テゴリ:	フロント		実終了	日:						
象バージョン:			進捗率:				096			
			予定工	箴:						
イント:	5		スクリ	ーンショット	а.					
程:	要件定義		ログフ	アイル:						
▼ カテゴリ2										
אכאנ:	コメント		作業難	易度:		3				
明										0 =
1575: 文書のマージンを http://18.236.40.152/	変更し、PDFエクスポー testrail/index.php?/te	トとの相互運用! ests/view/3575	生をテストする							~ 10
ケットセットから子チケ	ット作成									這
チケット										違
達するチケット										這
				/ HE Q.	時間を記録	☆ ウォッチ	聞チケ	ット関連回	0.02-	÷ 🖬 🖬
			4	/ KR 🚱 I	時間を記録	☆ ウォッチ	<ul> <li>ピチケ</li> <li>他の形式</li> </ul>	ット開達区 にエクスオ	t () ⊐Ľ– t– ト: ⊠At	tom   P

TestRail 上の 課題/チケット ID のリンクにマウスカーソルをあてると、ポップアップ表示で課題/チケットの最新情報を確認できます。

Fail	ed	このテストは 'Failed' としてマー	pënëlt -
2020 田翔:	//12/23 16:56 吉 太 <u>編集</u>		
欠陥 2479	リンクに力 課題/チケッ	ーソルを合わせるとポッコ )トの概要を表示します。	<b>クアップ表示で、</b>
xC	<u>2479</u> : Failed tes する	t: 文書のマージンを変更し、PD	Fエクスポートとの相互運用性をテスト
2020 藤大	Tracker パグ	Status 新規	<b>Project</b> Redmineプラグインの開発 (LGC)
経過 12m	<b>Category</b> フロント	<b>רעאר</b> אראר	作業難易度 3
	ポイント 5	工程 1	
+ #	T3575: 文書のマ http://18.236.4	ージンを変更し、PDFエクスポー 40.152/testrail/index.php?	- トとの相互運用性をテストする /tests/view/3575

欠陥プラグインのカスタマイズ

デフォルトで用意している欠陥プラグインは、TestRail がサポートしている課題管理ツールの標準的な構成で利用 できるようになっています。課題管理ツール側でカスタムフィールドが存在し、かつ、必須項目に設定している場 合などは用意されているデフォルトの欠陥プラグインでは課題/チケットの登録ができない場合があります。

その場合、ご利用環境に合わせて欠陥プラグインをカスタマイズしていただくことが可能です。

欠陥プラグインのカスタマイズについては、カスタム欠陥プラグインの作成 、例:欠陥プラグインのカスタマイズ をご確認ください。

また、テクマトリックスでは Redmine のカスタムフィールドに対応したカスタム欠陥プラグイン をご提供してい ます。

#### 6-2-2. 参照 - 要件管理ツール連携

参照機能を利用して TestRail と要件管理ツールを連携すると、要件管理ツールに保存された要件と TestRail のテス トケースやテストランをリンクすることができます。

参照機能では以下の2つをサポートしています。

- 参照 URL
- 参照プラグイン

参照 URL

参照 URL を使用すると、以下のことができるようになります。

■ TestRail から要件管理ツール上の、要件作成画面に遷移して新しい要件を作成する

■ TestRail から要件管理ツール上の 要件ページに遷移する

参照URL は [管理] > [統合] > [参照] タブ で設定することができます。

参照表示 URL

要件管理ツールの要件表示するための URL アドレスです。

この URL を使うと、テストケースやテストランの <u>参照</u> フィールドに要件管理ツールの要件 ID を登録しておくと、 TestRail から画面遷移することができます。

参照表示 URL に登録する URL の形式は、ご利用の要件管理ツールによって異なります。TestRail と統合可能なツー ルと、そのツールの詳しい設定方法については、TestRail の統合 ツールごとの手順 をご確認ください。

動作例

■ テストケースの参照フィールドに要件の ID を設定 (ここでは 123 を指定)

- 7XF9-X	の編集						
!ニュアルベーステスト							
71hu*							
複数ページの文書で目	次を追加して確	認する					
セクション*		テンプレート*		タイプ・		優先度*	
前提条件	~	テストゲース(手順)	~	マニュアル記載	~	Medium	~
見積り		参照	追加	自動化種別			
6m		123		None	~		
向提条件							
最新のマニュアルを準(	着すること。						

入力した ID がリンクになります。

🐠 Free te	sting webinars - browse this mo	nth's topics. <u>Rese</u>	rve your seat n	iow!	0	03 複	数ページの文書で	目次を追加して	確認 ∠ 編集 ×
7ב=7 😢	ブルベーステスト	0 🖬	9 G 💩	ポート 🗙 💿 テストランの道灯	2 通報	タイプ マニュアル	優先度 記載 Medium	見積り 6分	<b>参照</b> 123
ソート順: <u>セクシ</u>	32 7489-1 <u>81</u>		+ 7-)	2.0追加 👱 編集 👻 🔘 8	NTR 11 FI	自動化相 None	131	のテストク	ースの参照フィールド
前提条件 💿	۷		0-11.ce	輕フィールドを表示させて	いる場合	前提条件			
	91hJJ	タイプ	带照	テンプレート		最新の	マニュアルを準備すること。		
I 🗆 C6	複数ページの文書で目次を	マニュアル記載	123	テストケース(手順)	<				
I 🗆 C7	マルチモニターシステムでWin	自動化		テストケース(テキスト)	>	手順			
II C8	テストメニューのキーボードパイ	マニュアル記載		テストケース(手順)	>	0	プロジェクト選択画面:De	moを聞く。	
E 🗆 C9	マルチモニターシステムでWin	ユーザビリティ		アストケース(アキスト)	>		期待される結果		
II 🗆 C10	文書のマージンを変更し、P	ユーザビリティ		テストケース(テキスト)	>	1	創業がエラーなく表示される		
	To be a second second								

■ リンクをクリックすると、要件管理ツール (ここでは Redmine) の要件に遷移します。

← → C ▲ 保護されていな	い通信   18.236.40.152/r	edmine/issue <mark>//1</mark> 2	3 *88	表示 URL に誘	定した URL	のブレ	ースホノ	レダーが置き	き扱わって	<b>て</b> いる
ホーム マイページ プロジェクト 🜔 リソース	<b>ミマネジメント 🜔 プロジェクトレ</b>	ポート 🜔 タイムマネ	ジメント 管理	NJJ 0 7=17	<b>л</b> .					
ウェブサイトのリニ	ューアル(EVM)									検索:
+ 概要 活動 ロードマップ	チケット 🗘 カンパン	🗘 バックログ	作業時期	◎ ガントチャー	ג−ב= א	文書	Wiki	ファイル	<b>O</b> EVM	ОV
機能 #123 該当する要件	のページが表示される			2 福集	哈爾を記録	± 0⊀	ッチ 뭡 :	チケット開達回	0 22-	官利除
大機総#122: 設計_デスト1 設計_デスト10										
大橋 宏行 が約2ヶ月前に追	自加,約15時間前に更新.									
ステータス: 終了			開始日:		2020/1	2/07				
優先度: 通常 通常			期日:		2020/1	2/08				
担当者:			実開始日 実終7日		2020/1	2/08				
PING 7-7.			進抄案:			10	0%			
			予定工数		5.00時間	8				
			作葉時間		5.00時間	8				
ポイント: 1										
			作業難易	度:	9					
チケットセットから子チケット作成										追加
子チケット										追加
関連するチケット										追加
次のチケットに後続 (3日) ウェブサイ レイアウト3	(トのリニューアル(EVM) - ノ	(グ #179: /(グ_画	面 新規	2020/11/	(02 :	2020/12/	03		÷.,	<b>\$</b>

参照追加 URL

要件管理ツールに新しい要件を追加するための画面を表示するための URL アドレスです。

この URL を使うと、テストケースやテストランの登録画面から要件管理ツールの新規要件追加画面に遷移することができます。

参照追加 URL に登録する URL の形式は、ご利用の要件管理ツールによって異なります。TestRail と統合可能なツー ルと、そのツールの詳しい設定方法については、TestRail の統合 ツールごとの手順 をご確認ください。

動作例

■ 「テスト ケースの追加」画面において参照フィールド横の <u>追加</u> リンクをクリックします。

テストケースの追加							
ニュアルペーステスト							
イトル*							
セクション*		テンプレート・		917*		優先度 *	
前提条件	~	テストケース(テキスト)	~	マニュアル記載	~	Medium	
見積り		参照	追加	自動化種別			
				None	~		
提条件							
and the second state of the second seco	na Datasana	other test encounth (CH) a c (C					

■ 要件管理ツール (ここでは Redmine) の新規要件作成画面が起動します。

Imine			検索:	プロジェクトへ移動
シェクト 活動 9%	「ット 作業時間 カントチヤート 🕌	カントチャート カレンター ニュ・	-*	
いチケット				
プロジェクト	* Redmineプラグインの開発(LGC)	~		ロプライ
トラッカー	* 1815 ¥			
10.4				
	ия в <i>I</i> <u>U</u> <del>S</del> С на на н	B 🗄 🗄 🗃 🗃 pre o		
	A (	_		
72-97	新規	<u> </u>	親ナケット	
優先月	【* 通常	•	開始日 2020/12/23 📋	
グルー	-7	•	細日 年 /月/日 📋	
担当	缙		実開始日 年 /月/日 首	
カデニ	10	- - -	実施7日 を (月)(日 単	
対象パージョ	2		* / / /	
	-		步定上截    时間	
			進排率 0 % 🗸	
ポイン	21- C			
カテゴリ2				
	>F		作業難易度	
			·	
-	(ル ファイル選択) 選択されていません	u (サイズの上雨: 5 MB)		
77-		□ 大橋 宏行	□ 安井 久雄	
ファイ ウォッチ1	7- (		C	
ウォッチャ	- () 曲田 傾可 () 安西 博満	<ul> <li>宮本 吉之助</li> </ul>	二 川名 異里	
ウォッチャ	曲田 城市 - 安西 博満 - 平岡 厚吉	<ul> <li>宮本 吉之助</li> <li>末永 文</li> </ul>	□ 川名 其出 □ 林 美琴	
ファ- ウォッチ1	<ul> <li>/ ● 曲田 頓可</li> <li>· 安西 博満</li> <li>· 平岡 厚吉</li> <li>· 水口 淡</li> </ul>	<ul> <li>□ 宮本 吉之助</li> <li>□ 末永 文</li> <li>□ 米田 離子</li> </ul>	□ 川名 具里 □ 林 美琴	

■ 要件を作成して、要件 ID を取得します。

Redmine	プ	ラグイン	の開発	(LGC)							模案:	
+ 親委 3	50)	ロードマップ	ቻታット	0 カンバン	₽ バックログ	作業時	田 ◎ ガン	トチャート	文書	Wiki	ファイル	0 EVI
🖋 チケット	#247	78 が作成されま	きした。									
幾能 #247	78					/ 福集(	🕞 時間を記録	☆ ウォッチ	間形	アット開達回	1 () DK-	官 削除
水。	<b>み込</b> 。	みの印刷プレ 「1分以内前に追加	ビュード	ライバでエラ	ラー表示							
ステータス: 優先度:		新規 通覚			開始E 期日:	3:		2020/12	2/23			
担当者: カテゴリ:					実開始 実終了	8日: 7日:						
対象バージョン					進持編 予定]	8: [数:			01	16		
ポイント: > カテゴリ2												
:1<					作業類	[易度:						
説明												🖓 引用
画面表示が不正												
チケットセット	からF	<b>子チケット作成</b>										進加
<del>7</del> ቻታታット												通加
関連するチケッ	Þ											細切
						/ 編集 (	3. 時間を記録	食 ウォッチ	日子の	アット開達図 ポにエクマッ	1 () ⊐ピ-	官 削除 om I PDF
									142/07/07			

■ 取得した ID を TestRail の「テストケースの追加」画面 の <u>参照</u> フィールドに登録します。(自動で登録されないため、手動で登録する必要があります。)

テスト ケースの追加							
マニュアルベーステスト							
9 <b>1</b> トル *							
40.021-218		and the t		0173		<b>佰牛庄</b> *	
セクション*		テンプレート *		タイプ・		優先度*	
セクション* 前提条件	~	テンプレート * テストケース(テキスト)	×	タイプ* マニュアル記載	~	優先度 * Medium	v
セクション* 前提条件 見積り	~	テンプレート* テストケース(テキスト) 参照	✓	タイプ* マニュアル記載 自動化種別	~	優先度 * Medium	~

 テストケースを登録後 参照表示 URL の機能を使って、テストケースから要件管理ツール (ここでは Redmine)の要件にアクセスすることができます。

参照プラグイン

参照プラグインを利用すると、以下のことができるようになります。

■ TestRail から要件管理ツールの要件情報を閲覧する

参照プラグインは[管理]>[統合]>[参照] タブ で設定することができます。

参照プラグイン	
	~
TestRailと要件、欠陥、または 設定を使用する場合は空のま <u>細</u>	い(グトラッカーを統合するためのブラグインです。 グローバル まにします。 プラグインの設定は下で行うことができます。 聖

プルダウンから、連携する要件管理ツールを選択します。利用できる要件管理ツールについては、TestRail の統合 ツールごとの手順 をご確認ください。

参照プラグイン		-
	~	
	4	プラグインです。 グローバル
Assembla		下で行うことができます。 詳
Axosoft / OnTime REST		
Axosoft / OnTime SOAP (old versions)		
Axosoft_v17_REST		
Bitbucket		
Bugzilla		
Gemini		
GitHub		
JIRA Cloud		
JIRA REST (JIRA Server 5.x, 6.x, 7.x and later)		
JIRA SOAP (JIRA Server 3.x, 4.x)		
Lighthouse		
Mantis		
Manuscript		
PivotalTracker		
Rally		のたけ田 スイビオレース
Redmine		Sを使用してくたさい。ユー
Redmine_custom		日9 ゆことが推奨されます
Sample	Ŧ	主和山

ツールを選択すると、自動で設定に必要な項目が下のテキストフィールドに挿入されますので、ご利用の環境に合わせて変更してください。

参照プラグイン
Redmine V
TestRailと要件、欠陥、またはパグトラッカーを統合するためのプラグインです。 グローバル 設定を使用する場合は空のままにします。 プラグインの設定は下で行うことができます。 <u>詳</u> 細
<pre>; Please configure your Redmine connection below ; For Redmine versions older than 1.3, you need to ; activate the legacy mode of this plugin. Please ; contact the Gurock Software support in case you ; have any questions or refer to the documentation: ; http://on.gurock.com/redmine35 [connection] address=http://<your-server>/ user=testrail password=secret</your-server></pre>

動作例

 TestRail 上の要件 ID のリンクにマウスカーソルをあてると、ポップアップ表示で要件の情報を確認 されます。

C16	新しいレビューデータオ	ペイントを追加する ( リンクにカーン)	・ _ 2 編集 ×
<b>タイプ</b> マニュア	優先度 7ル記載 High	<b>アップ表示で要付</b> 見積り 参 14分 21	<b>#情報が表示される +</b> 照
自動1	<u>21</u> : クリティカルパス タスク 2	1	
None	<b>Tracker</b> 機能	Status 新規	<b>Project</b> 行政アブリの開発(Critical Path)
最新	אעאב	作業難易度 9	<b>ポイント</b> 5
手順	No description.		

#### 6-2-3. プロジェクト毎の課題/要件管理ツール連携

[管理] タブ > [統合] で設定した場合、TestRail 上の全てのプロジェクトに対して有効な設定になります。

プロジェクト毎に利用している課題/要件管理ツールが異なる場合は、[管理] タブ > [プロジェクト] で設定を変更す るプロジェクトを選択後、[欠陥] タブ、[参照] タブで設定してください。

#### 6-3. API 有効化

TestRail の REST API を利用する場合や、Ranorex と連携する場合、[管理] タブ > [サイト設定] > [API] タブから API の有効化が必要です。

7799-987	電子メール	ログイン	セキュリティ	更新	セッション	ユーザー インターフェイス	API	
APIの有効化								
lestRailの API 老仆 藤入時にプロジェク	史用すると、テスト! トやテストケース&-	自動化ツールと# 一括でインポート	街合したり、UI 巻力 ・したりできます。	スタマイズし	たり、			
APIでヤッショ	ン認証を有効化							
セッション認証は、も	セッション Cookie (	E使用して API!	リクエストを認証す	ることによって	実現			
enag. Zhik.	12797F76(3	在のユーザーの	コンテキストで)API	メソッドを呼	び出			
「湯金に伊川です。								

#### 6-4. リンク

- ■前の章:5.テストケースのインポート
- 次の章:7.その他
- 関連マニュアル: TestRail の統合
- 関連マニュアル: TestRail API (v2)

# 7. その他

本章では、知っていると便利な TestRail の Tips を紹介します。

#### 7-1. バックアップと復元

TestRail には自動バックアップ機能がありません。そのため、定期的に TestRail のバックアップを取得することを 推奨いたします。

TestRail のバックアップは以下の4点を取得してください。

- データベース
- インストールディレクトリ
- 添付ファイル
- レポートファイル

#### 7-1-1. データベース

バックアップ

ご利用のデータベースに応じて以下のようなツールを利用して論理バックアップを取得してください。

- MySQL (Linux/Unix 環境) の場合: mysqldump または phpMyAdmin
- SQL Server (Windows 環境) の場合: SQL Server Management Studio

TestRail インストールマシンの OS 間マイグレーション時 (Windows ⇒ Linux/Unix、Linux/Unix ⇒ Windows) は、 データ移行用のスクリプトをご用意しておりますのでお問い合わせください。

復元

ご利用のデータベースに応じてバックアップを復元します。

バックアップを取得したデータベースと同じバージョンのデータベースでバックアップを復元してください。(デー タベースのバージョンアップが必要な場合、復元後にバージョンアップしてください。)

- MySQL (Linux/Unix 環境)
  - 論理的な MySQL バックアップには、データベースを復元するための SQL コマンドが含まれているので、データベースに対して論理バックアップファイルを適用します。それには、 mysqlコマンド ライン ツールを使用して以下を実行します。
    - mysql -u <username> -p -default-character-set=utf8 <database> < backup.sql
      - <u><username></u>を MySQL のログイン名に、<u><database></u>をデータベー ス名に置き換えてください。
  - TestRailのインストールで作成された空のデータベースが、バックアップの既存データに 置き換えられます。コマンドを実行する前に、復元先が正しいデータベースとマシンであ るかを再確認してください。
- SQL Server (Windows 環境)
  - SQL Server Management Studio からデータベースに対してバックアップ SQL ファイル を実行します。

- Management Studio でスクリプトを実行する前に、左上隅のドロップダウンで 正しいデータベースが選択されていることを確認してください)。
- あるいは、sqlcmd コマンド ライン ツールを使って、次のようにスクリプトを実行することもできます。
  - sqlcmd -x -f 65001 -S localhost -U <username> -d <database> -i backup.sql
    - <u><username></u>をログイン名に、<u><database></u>をデータベース名に置き 換えてください。
- TestRailのインストールで作成された空のデータベースが、バックアップの既存データに 置き換えられます。コマンドを実行する前に、復元先が正しいデータベースとマシンであ るかを再確認してください。

#### 7-1-2. インストールディレクトリ

TestRail のインストールディレクトリには、TestRail の設定ファイル (データベース接続情報などが定義されてい ます) やログファイル、カスタムスクリプトなどが含まれます。

バックアップ

TestRail インストールディレクトリをそのままコピーしてバックアップを取得してください。

復元

- 以下の手順でインストールディレクトリを復元してください。
  - 取得したバックアップの復元の前に、バックアップを取得したバージョンと同じバージョンのインストールモジュールをご利用環境にインストールします。
    - 古いバージョンのインストールモジュールが必要な場合は、お問い合わせください。
  - 取得したバックアップを TestRail インストールディレクトリに上書きします。
  - TestRail が正常に動作することを確認します。

注意

復元環境がバックアップを取得した環境と異なる場合、[管理]で以下の設定を変更する必要があります。

- [サイト設定] > [アプリケーション] タブ > 添付ファイルのディレクトリ
- [サイト設定] > [アプリケーション] タブ > レポートのディレクトリ
- [サイト設定] > [電子メール] タブ > Email サーバー
- [サイト設定] > [電子メール] タブ Email 送信元アドレス
- TestRail インストールディレクトリの config.php

#### 7-1-3. 添付ファイル

TestRail 上にアップロードした添付ファイルの格納先を確認してください。

■[管理]>[サイト設定]>[アプリケーション]タブ>添付ファイルのディレクトリ

バックアップ

添付ファイル格納先のディレクトリをそのままコピーしてバックアップを取得してください。

復元

バックアップで取得したディレクトリを復元してください。

#### 7-1-4. レポートファイル

- 作成したレポートの格納先を確認してください。
  - [管理] > [サイト設定] > [アプリケーション] タブ > レポートのディレクトリ

バックアップ

レポート格納先のディレクトリをそのままコピーしてバックアップを取得してください。

復元

バックアップで取得したディレクトリを復元してください。

7-2. ポートを変更する

TestRail が利用するポートを変更するには、TestRail を稼働している WEB サーバー (IIS または Apache) の設定を 変更します。

#### 7-2-1. Apache (Linux/Unix 環境) でポートを変更する

※ご利用の環境によっては操作手順が異なる可能性がございます。

- Apacheの設定ファイルを開きます。
  - •例:vi/etc/apache2/ports.conf
- Listen XX と記載されている行を任意のポートに変更してファイルを保存します。

23	.If you just change the port or add more ports here, you will likely also have to change the VirtualHost statement in /etc/apache2/sites-enabled/000-default.conf
5 L	isten 80
7 < 8 9 <	IfModule ssl_module> Listen 443 /IfModule>
11 < 12 13 <	IfModule_mod_gnutls.c> Listen_443 /IfModule>
15 =	vin: syntax=apache ts=4 sv=4 sts=4 sr noet

- Apache を再起動します。
  - service apache2 restart

#### 7-2-2. IIS (Windows 環境) でポートを変更する

※ IIS 10 で動作確認をしています。ご利用バージョンによっては操作手順が異なる可能性がございます。

- [スタート] メニューから [プログラム] > [Windows 管理ツール] > [インターネットインフォメーショ ンサービス(IIS)マネージャ] を起動します。
- [サイト] から、TestRail 用のサイト設定を選択し、右クリック > [Web サイトの管理] > [停止] を選 択します。

77·1/L(F) 表示(	v) /	リレブ(H)							
接続			TestRail	ホーム					操作
Q. • [2] [3] [1] 23- ⊢ 7-3 [1] 23- ⊢ 7-3 [1] 23- ↓ 7-3 [1] 23- ↓ 7-3 [1] 23- ↓ 7-3 [2] 37-1 [2] 37	ל עבע און Wei גער עבע גער עבע גער עבע גער גער גער גער גער גער גער גער גער גער	*Admi ール 5 Site エクスプローラー アクセス計可の編 アプリケーションの3 仮想ディレクトリの パインドの編集 Web サイトの審測 最新の後編に更明	<u>24.9</u> IS сса к 25 ал ал ал		* * 株司(G) ・ 日 */     * * 株司(G) ・ 日 */     * * * * * * * * * * * * * * * *	Cて表示(A) クルーフ SSL 投定 ログ記様 要求フィルター	M2 載板 通 エラー ページ 正線	•	<ul> <li></li></ul>
	× ?	削除 アプリケーションをす を約の支援	<b>チャラリーからインストール</b>	•	停止 参照 詳細設定			^	またかいた~~ 構成 制限 アプリケーションをギャラリーからイン
	10	コンテンツビューにも	のり替え						2h-J/ All7
¢			一個 機能によー 1000 コンデ:	279 62-					

■ [操作] > [バインド] をクリックします。

ファイル(F) 表示(V) ヘルブ(H) 豪統		操作
2 8	■ TestRail ホーム	A 17270-9-
- 19-トページ	7(ルター: * 〒 検索(G) · - すべて表示(A) / グルーブ化: 領域 ・	7クセス許可の編集
*Admir 一語 アプリケーション ブール	IS	#/1018
v- <u>≅</u> サイト	CGT 🐣 🐜 🗛 🔺	<u>1972K.</u>
> C Default Web Site		マゴルケーションの事業
	Con Hill De Con Hill Congre Con Con Con	仮想ディレクトリの表示
	📅 🖆 📑 🗐	Web サイトの管理
	ディレクトリの参照 ハンドラーマッピング モジュール ログ記録 圧縮	<b>掌</b> 网络助
		▶ 開始
	現定のドキュメント 出力キャッシュ 認証 要求フィルター	web 9 1 P09 m
		詳細設定
		着成
		制限
	Web Platform 構成エディター Installer	アプリケーションをギャラリーか ストール
	IT REPORTED	∧     √
>	国 機能ビュー 💦 コンテンツビュー	

(ኮ/ናብ	ンド			? ×
種類	ホスト名	ポート IP アドレス	バインド情報	追加( <u>A</u> )
http		80 *		福集( <u>E</u> )
				周川除( <u>R</u> )
				参照( <u>B</u> )
				閉じる(C)

■ ポートを任意の値に変更後、設定を保存します。

11 71 21 20					
種類(T):	1	P アドレス(I):		ポート(0):	
http	$\sim$	未使用の IP アドレスすべて	~	8888	
ホスト名(H):					
列: www.conto	so.com a	たは marketing.contoso.com			
列: www.conto	so.com 8	たは marketing.contoso.com			
列: www.conto	so.com a	たは marketing.contoso.com			
例: www.conto:	so.com a	たは marketing.contoso.com			
例: www.conto:	so.com a	たは marketing.contoso.com			
例: www.conto:	so.com a	たは marketing.contoso.com			

■ [サイト] から、TestRail 用のサイト設定を選択し、右クリック > [Web サイトの管理] > [開始] を選 択します。

← → €	2	サイト > TestRail >							<b>2</b> 20 60 10 1
2710(F) (表示) 離戦 ●・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	vəy ult W	Admin 2010	il ホー	ム ・ マ ざ 答ヘッダー	映图(G) - @ \$7( ) MIME の性現	て表示(A)   グループ G SSL 設定	<u>化</u> 爆地 <u>泉</u> エラー ページ	<ul> <li>画・</li> <li>語作</li> <li>ジュクスカー・ラークウセス許可い</li> <li>ウイトの編集 パイドに、</li> <li>図 基本設定。</li> <li>アプリアーション</li> </ul>	- り環集 ノの表示
E	3	アクセス計画の編集 アプリケーションの造加 彼想ディレクトリの造加 パインドの編集	K5-	2) マッピング 20	# ₹%-₩	□712#	Est	低電デルクト Web サイトの管理 ② 再起動 ▶ 開始 ■ 停止 Web サイトの管理	小の表示 !  ③
	• •	Web ウイトの香畑 豊新の後報に更新(内) 剤除 アプリケーションをギャラリーからインストール 名前の変更		再起助 開始 停止 参照 詳細設知	2	要求フィルター		<ul> <li>○ *:6888 (http)</li> <li>注册設定</li> <li>提成</li> <li>利限</li> <li>アブリアーション</li> </ul>	参照 /をギャラリーからイン
		コンテンソ ビート切り替え						<ul> <li>3 <u>xx=b</u></li> <li>₩ ∧b7</li> </ul>	

## 7-3. 添付ファイルのアップロード上限サイズを変更する

テストケースやテスト結果にファイルを添付すると「Maximum upload size was exceeded」が表示されてしまう 場合、ご利用環境の php の設定を変更してください。

php.iniの以下の2つの項目を変更し、Webサーバーを再起動してください。

# 変更例です。ご利用環境に合わせて変更してください。 post\_max\_size=64M upload\_max\_filesize=64M

## 7-4. プロキシサーバーを設定する

TestRail サーバーから外部サイトへのアクセスにプロキシが必要な場合は、TestRail にプロキシサーバーの設定が 必要です。

TestRail の config.php ファイルをテキストエディタで開き、<u>DEPLOY\_PROXY\_HOST</u> オプションと <u>DEPLOY\_PROXY\_PORT</u> オプションを有効にします。

define('DEPLOY\_PROXY\_HOST', 'proxy-hostname-or-ip'); // Proxy サーバーのホスト名またはIPアドレス define('DEPLOY\_PROXY\_PORT', 8080); // Proxy サーバーのポート define('DEPLOY\_PROXY\_USER', 'proxy-user'); // (不要な場合は削除)Proxy サーバーユーザー名 define('DEPLOY\_PROXY\_PASSWORD', 'proxy-password'); // (不要な場合は削除)Proxy サーバーパスワード)

## 7-4-1. LB (ロードバランサ) で SSL を終端させている環境で利用する

TestRail は https 経由でアクセスされたことを認識できないため、URL をオーバーライドする必要があります。 以

下の2点を実施してください。

TestRail の config.php ファイルをテキストエディタで開き、<u>DEPLOY\_REQUEST\_SERVER</u> オプションと <u>DEPLOY\_REQUEST\_PATH</u> オプションを有効にします。

define ('DEPLOY\_REQUEST\_SERVER', 'https://');
define ('DEPLOY\_REQUEST\_PATH', 'testrail.mycompany.com');

TestRailの以下の画面から、Web アドレスのURLも同様に "https://XXXX" に変更します。
 [管理] > [サイト設定] > [アプリケーション] タブ > Web アドレス

7-5. リンク

- 前の章:6.高度な設定
- 関連マニュアル: TestRail 入門
- 関連マニュアル: TestRail のバックアップを作成
- 関連マニュアル: TestRail のバックアップを復元

# お問い合わせ先



8	03-4405-7853
---	--------------

testrail-info@techmatrix.co.jp

http://www.techmatrix.co.jp/product/testrail/

